



図1 蒜山地域の位置

表 1 蒜山地域の土地面積

町 村		総土地面積 (ha)	林野面積 (ha)	耕地面積 (ha)	林野率 (%)	耕地率 (%)
蒜 山 地 域	川上村	7,671 (23.1)	5,291 (19.7)	608 (25.5)	69.0	7.9
	八束村	6,383 (19.3)	4,381 (16.3)	618 (25.9)	68.6	9.7
	中和村	4,810 (14.5)	4,283 (16.0)	278 (11.7)	89.0	5.8
	湯原町	14,272 (43.1)	12,879 (48.0)	880 (36.9)	90.2	6.2
	旧二川村	6,549 (19.8)	5,978 (22.3)	324 (13.6)	91.3	4.9
	旧湯原町	7,723 (23.3)	6,901 (25.7)	556 (23.3)	89.3	7.2
		33,136 (100.0)	26,834 (100.0)	2,384 (100.0)	81.0	7.2
真庭郡		84,485 (39.2)	68,256 (39.3)	7,020 (33.9)	80.8	8.3
岡山県		717,032 (4.6)	492,758 (5.4)	109,289 (0.2)	68.7	15.2

資料：(1) 総土地面積および林野面積は1960年世界農林業センサス  
(林業地域調査)より作成。

(2) 耕地面積は1950世界農業センサスより作成。

注：(1) 林野率および耕地率は総土地面積に対する割合。

(2) 真庭郡と岡山県の括弧内は蒜山地域土地面積の対真庭郡比及び対岡山県比。

表 2 森林立地区別土壌群の分布比率

(単位：%)

森林立地区分	地域区分	乾性褐色森林土	適潤性褐色森林土	弱湿性褐色森林土	赤色土	黒色土	クレー
蒜山安山岩・洪積層高原山地	蒜山山地	7.2	3.5	－	－	89.3	－
中和花崗岩・安山岩山地	中和山地	42.2	41.1	－	0.5	15.9	0.3
湯原北部花崗岩・安山岩山地	湯原山地	22.6	57.5	－	0.1	19.0	0.8
湯原南部花崗岩山地		15.7	79.5	0.3	0.3	4.2	0.0

資料：岡山県林業試験場『岡山県の林野土壌』より作成。

表3 蒜山地域における森林土壌の断面形態

土壌群	調査地点	層位	層位厚さ (cm)	土壌断面の形態
黒色土 (蒜山山地)	川上村郷原 (標高860m、小尾根頂部、方位北北西、傾斜度14度、ヒノキ人工林)	L	1	クマザサ、シシガシラの落葉
		A <sub>1</sub>	10~15	黒褐色S、腐植に富む、埴壤土、団粒状~塊状構造、堅密度軟、水湿状態多湿、中細根多し、A <sub>2</sub> 層への推移判然
		A <sub>2</sub>	5~8	黒色、腐植に富む、埴土、堅果状構造、堅密度堅、水湿状態湿、中細根多し、B層への推移漸次
		B C	15~20	黄褐色、腐植乏し、埴土、堅果状構造、堅密度堅、水湿状態湿、中根あり、C層へ漸移 明黄褐色で石礫に富む
乾性褐色森林土 (中和山地)	中和村下鍛冶屋 (標高510m、尾根凸部、方位西、傾斜30度、25年生アカマツ天然林)	L	3~5	アカマツ、コナラ、クマザサの落葉
		A	2~3	褐色、腐植乏し、砂質壤土、細粒状~粒状構造、堅密度堅、水湿状態乾、細根多し、B <sub>1</sub> 層との境は明らか
		B <sub>1</sub>	10~20	にぶい褐色、腐植乏し、砂質壤土、粒状~堅果状構造、堅密度堅、上部に菌糸束を形成、B <sub>2</sub> 層との境は判然
		B <sub>2</sub>	50~	にぶい黄褐色、腐植乏し、埴壤土、弱度の堅果状構造、堅密度堅、水湿状態潤
適潤性褐色森林土 (湯原山地)	旧二川村杉成 (標高700m、山腹下部、方位西、傾斜15~18度、ミズナラ、コナラなど雑木林)	L	1~2	ミズナラ、クマザサの落葉
		A <sub>1</sub>	10~15	暗褐色、腐植に富む、埴壤土、団粒状構造、堅密度軟、水湿状態湿、細中根極多
		A <sub>2</sub>	15~20	暗褐色、腐植に富む、埴壤土、団粒状~塊状構造、堅密度軟、B層への推移やや判
		B <sub>1</sub> B <sub>2</sub>	10~15 20~	明褐色、腐植乏し、埴壤土、弱度の堅果状構造、堅密度やや堅、水湿状態湿 明褐色、腐植乏し、弱度の堅果状構造、堅密度堅、水湿状態湿

資料：岡山県林業試験場『岡山県の林野土壌』、同『昭和44年度岡山県適地適木調査報告書第15号（真庭北部地区）』より作成。

表 4 蒜山地域における森林土壌の化学的性質

町村 (地域区分)	地形	土壌群	層位	層位の深さ (cm)	pH	置換酸度 y <sub>1</sub>	全炭素 (%)	全窒素 (%)	炭素比
川上村 (蒜山山地)	山腹下部 凸斜面	黒色土	A	4~8	4.0	23.0	9.3	0.56	17
			B	35~39	4.3	12.0	2.8	0.15	19
中和村 (中和山地)	尾根近く 斜面上部	黒色土	A	2~6	4.2	18.0	8.6	0.43	20
			B	30~34	4.0	16.0	1.3	0.08	16
旧二川村 (湯原山地)	山腹 凹斜面	黒色土	A	1~5	4.3	4.7	9.5	0.52	18
			B <sub>1</sub>	23~27	4.4	3.7	7.2	0.40	18
			B <sub>2</sub>	55~59	4.5	3.0	4.9	0.20	25
旧二川村 (湯原山地)	山腹 凸斜面	乾性褐色 森林土	A	2~6	3.9	13.6	4.7	0.23	20
			B <sub>1</sub>	12~16	4.0	17.4	2.0	0.09	22
			B <sub>2</sub>	30~34	4.0	17.5	1.6	0.05	31
旧二川村 (湯原山地)	山腹 凹斜面	適潤性褐色 森林土	A <sub>1</sub>	3~7	4.1	4.6	9.4	0.65	14
			A <sub>2</sub>	20~24	4.2	7.3	5.8	0.51	11
			B	40~44	4.3	5.4	4.0	0.37	11

資料：岡山県林業試験場『岡山県の林野土壌』より作成。

注：(1) pHは塩化カリ濾液の値。炭素比(率)は炭素／窒素として表示。

(2) 置換酸度の区分基準は表 1 1 を参照のこと。

表5 蒜山原における黒色土群土壌の断面形態

土壌群・亜型	分布域の主たる地形	層位	深さ (cm)	土壌断面の形態
黒S土群 黒ぼく一風化基岩 (調査地点-17)	丘陵の頂きなど (7/59)	A	0~42	黒褐色の腐植に富む 埴壤土、柔軟で所々に団粒と亀裂を見る、植物根多く、組織は粗い 黄褐色の埴壤土、腐植なし、亀裂と壊れやすい団塊状構造。硬い下層を持つ 花崗岩の風化岩石層にて黄褐色を持つ灰白色、下部に完全な花崗岩の露頭を見る
		B	42~63	
		C	63~	
黒S土群 黒ぼく一砂層の互層 (調査地点-4')	丘陵の緩傾斜面など (28/59)	A	0~65	黒褐色の腐植に富む埴壤土、野草根多く、表層は碎易な構造で、下層ほど密で堅硬 褐色の火山灰層、腐植なしの埴壤土、緻密で堅硬 黄褐色の礫を含む壤土、礫には石英、角閃石らしきものの外に風化物を若干含む 灰褐色の砂土、砂層の間にローム質層を混う
		B1	65~118	
		B2	118~152	
		B3	152~	
崩積性・沖積性 未熟土群 黒ぼく一砂礫集積土 (調査地点-5)	川沿い及び溪谷の斜面 など、地下水の影響なし (9/59)	A1	0~11	黒味を帯びた褐色の埴壤土、大きな礫が混じる 黄褐色の砂土に表層土が混ざり黒味を帯び、礫を含む 黄褐色～暗褐色の壤土と黄褐色の砂との混合
		A2	11~28	
		A3	28~75	

資料：岡山県『蒜山原土地利用基礎調査報告書』より作成。

注：土壌群・亜型の括弧内は調査地点番号、分布域の主たる地形の括弧内は当該土壌型の調査地点数／総調査地点数を示す。

表 6 蒜山原における原野土壌の化学的性質

地目	調査 地点数	層位	層の厚さ (cm)	pH	置換酸度 y <sub>1</sub>	置換性石灰 (mg)	有効態 磷酸(mg)	磷酸吸収 係数	中和炭カル量 (kg)	熔成磷肥 必要量(kg)
未墾地 (原野)	4	1	39 ±15	4.23 ±0.07	21.8 ±6.9	37 ±35	0.21 ±0.10	2390	700 ±141	80
新墾地 (畑)	19	1	46 ±19	4.58 ±0.60	14.7 ±6.7	34 ±18	0.21 ±0.05	2490 ±151	556 ±175	80
既墾地 (畑)	50	1	34 ±15	4.47 ±0.26	11.2 ±5.3	77 ±38	0.34 ±0.10	2380 ±58	411 ±169	80

資料：岡山県『昭和40年度蒜山地区土壌調査報告書』より作成。

注：(1) pHは塩化カリ濾液の値。

(2) 置換性石灰および有効態磷酸は風乾土100g当たり含量。

(3) 中和炭カル量および熔成磷肥必要量は10a 当たり。

(4) 測定値は平均値±標準偏差で示す。

(5) 磷酸吸収係数の測定地点数は、未開墾地2点、新墾地と既墾地はともに4点。

表7 蒜山地域における牧野土壌の断面形態

調査場所		層位	深さ (cm)	土性	腐植	礫	土色	構造	密度	粘性	湿り
蒜山山地	川上村 上徳山	1	0~24	埴壌土	頗る富む	なし	暗茶褐色	粉状	19	中	乾
		2	24~39	埴壌土	頗る富む	なし	茶褐色	粉状	18	中	乾
		3	39~	埴壌土	なし	なし	薄黄橙色		15	中	
	八束村 曲原	1	0~45	埴壌土	頗る富む	なし	黒色	粉状	20	大	湿
		2	45~56	埴壌土	頗る富む	なし	茶灰色	粉状	19	大	湿
		3	56~	埴壌土	なし	なし	薄黄橙色	果粒状	24	大	湿
	八束村 高松	1	0~8	壤土	富む	あり	暗茶灰色	粉状	17	中	湿
		2	8~41	壤土~砂質壤土	あり	含む	薄茶色	果粒状	17	小	湿
		3	41~	壤土~砂質壤土	なし	巨角礫含む	黄茶色	果粒状	19	小	湿
	八束村 山城	1	0~21	砂質壤土~壤土	頗る富む	小角礫含む	暗茶灰色	粉状	19	中	湿
		2	21~	砂質壤土~壤土	頗る富む	小角礫含む	黒色	粉状	19	中	湿
中和山地	中和村 下和	1	0~11	埴壌土	頗る富む	なし	茶灰色	粉状	19	中	乾
		2	11~32	埴壌土	頗る富む	なし	暗茶灰色	粉状	17	中	湿
		3	32~	埴壌土	なし	なし	薄黄橙色		18	中	湿
湯原山地	旧二川村 柿の谷	1	0~6	壤土	頗る富む	なし	茶灰色	粉状	10	大	湿
		2	6~24	壤土	頗る富む	巨角礫含む	暗茶灰色	果粒状	10	中	湿
		3	24~	砂質壤土	なし	岩盤	灰味黄茶色				
	旧二川村 金カ原	1	0~8	砂質壤土	富む	含む	暗茶灰色	粒状	12	小	湿
		2	8~33	砂質壤土	含む	含む	灰味黄茶色	粒状	17	小	湿
		3	33~	礫土			薄黄橙色	果粒状	13		
	旧湯原町 下湯原	1	0~9	埴壌土	頗る富む	含む	暗茶灰色	粉状	10	大	湿
		2	9~68	埴壌土	富む	なし	黒色	果粒状	11	大	湿
		3	68~	埴壌土	なし	巨角礫含む	暗茶灰色	果粒状	18	中	
	旧湯原町 豊栄	1	0~5	砂質壤土	富む	なし	茶灰色	粒状	17	小	湿
		2	5~24	砂質壤土	含む	なし	茶灰色	果粒状	18	小	湿
		3	42~	砂質壤土	なし	含む	灰味黄茶色	果粒状	21	小	湿

資料：岡山県立農業試験場『昭和32年度牧野土壌調査報告書』、同『昭和34年度牧野土壌調査報告書』より作成。

注：腐植、礫、密度、粘性、湿りの区分基準<sup>33)</sup>

腐植：「頗る富む」腐植含量20~10%、「富む」10~5%、「含む」5~2%、「なし」2%以下。

礫：「含む」礫含量10~5%、「ありまたはなし」5%以下、「巨礫」長径30~20cm。

密度：硬度計による計測値(mm)により、「極疎」10mm以下、「疎」11~18mm、「中」19~24mm、「密」25~28mm。

粘(着)性：「大」指頭に強く付着し、指をはなすと伸びる。「中」両指頭に付着し、指をはなすと、多少伸びる傾向あり。「小」土壌が一方の指に付着し、指をはなすと伸びない。

湿り：「乾」手で握っても湿気を感じないもの、「湿」手で握ると手のひらがぬれるが水滴の落ちないもの。

表8 蒜山地域における牧野土壌の化学的性質

調査場所 (地域区分と町村)			層位	層の深さ (cm)	pH	置換酸度 y <sub>1</sub>	置換性石灰 (mg)	磷酸吸収 係数	中和炭力量 (kg)
蒜 山 山 地	川 上 台 地	川上村 上徳山	1	0~24	4.9	11.1	12	2299	1000
			2	24~39	5.2	2.8	13	2268	—
			3	39~	5.5	0.4	6	2127	—
		2か所平均	1	0~19	4.8	14.3	14	2275	1100
	蒜 山 原	八束村 曲原	1	0~45	4.6	10.4	8	1734	900
			2	45~56	4.7	8.0	5	—	—
			3	56~	5.2	0.6	7	—	—
		8か所平均	1	0~41	4.4	17.0	28	1892	602
	中 国 山 脈 山 塊	八束村 高松	1	0~8	4.6	10.4	16	1011	338
			2	8~41	4.6	12.3	8	—	—
			3	41~	4.4	16.5	2	—	—
		3か所平均	1	0~14	4.6	12.0	9	1007	574
中 和 山 地		中和村 下和	1	0~11	4.8	13.5	10	1560	570
			2	11~32	4.7	14.2	8	1846	—
			3	32~	5.7	0.4	8	2184	—
		3か所平均	1	0~13	4.7	12.6	19	1300	607
湯 原 山 地	湯 原 北 部	旧二川村 柿の谷	1	0~8	4.7	9.2	15	1172	225
			2	8~33	4.9	4.3	9	—	—
			3	33~	4.6	8.6	3	—	—
		7か所平均	1	0~10	4.7	10.4	32	1172	287
	湯 原 南 部	旧湯原町 下湯原	1	0~9	4.7	18.6	27	729	337
			2	9~68	4.7	11.6	8	—	—
			3	68~	4.5	11.6	4	—	—
		7か所平均	1	0~9	4.5	14.5	143	789	407

資料：岡山県立農業試験場『昭和32年度牧野土壌調査報告書』、同『昭和34年度牧野土壌調査報告書』、岡山県『昭和40年度蒜山地区土壌調査報告書』より作成。

注：(1) pHは塩化カリ濾液の値。

(2) 置換性石灰は風乾土100g当たり含量。一印は未測定。

(3) 置換酸度、置換性石灰含量、磷酸吸収係数の区分基準は表11を参照のこと。

表9 水田土壌の断面形態

土壌統	層位	深さ (cm)	土性	腐植	礫	土色	構造	密度	湿り	下層との境界	腐植層序
中福田統 八束村中福田	1	0~22	埴壤土	頗る富む	あり	黄黒色	粒状	疎	湿	明瞭	表層多腐植層
	2	22~38	埴壤土	富む	あり	黄黒色	塊状	中	湿	漸変	
	3	38~	埴壤土	富む	あり	黄黒色	塊状	中	湿		
大谷統 旧二川村種	1	0~16	砂質壤土	富む	含む	黄黒色	粒状	疎	湿	明瞭	表層多腐植層
	2	16~32	砂質壤土	欠く	含む	黄灰色	単粒	疎	湿	明瞭	
	3	32~	砂質壤土	欠く	礫層	淡黄褐灰色	単粒	中	湿		
熊谷統 川上村本茅部	1	0~16	埴壤土	頗る富む	含む	黄黒色	粒状	疎	湿	やや明瞭	表層多腐植層
	2	16~33	砂質埴壤土	含む	含む	黄灰色	塊状	中	湿	漸変	
	3	33~	砂質埴壤土	含む	富む	黄灰色	塊状	疎	湿		
岡中曽統 八束村下見	1	0~16	埴壤土	富む	なし	黄黒色	塊状	疎	湿	やや明瞭	表層多腐植層
	2	16~30	埴壤土	富む	あり	黄灰色	塊状	疎	湿	漸変	
	3	30~	埴壤土	富む	なし	黄黒色	塊状	中		湿	
間谷統 川上村東茅部	1	0~19	埴壤土	富む	あり	黄黒色	粒状	疎	湿	やや不明瞭	全層多腐植層
	2	19~42	埴壤土	富む	あり	黒色	塊状	中	湿	漸変	
	3	42~	埴壤土	富む	あり	黒色	塊状	疎	潤		
本庄統 旧湯原町本庄	1	0~20	砂質壤土	富む	あり	黄灰色	粒状	頗る疎	湿	明瞭	表層多腐植層
	2	20~31	砂質壤土	富む	あり	黄灰色	塊状	中	湿	漸変	
	3	31~	砂質壤土	欠く	礫層	黄灰色	塊状	中	湿		
郷原統 川上村本茅部	1	0~17	壤土	頗る富む	含む	黄黒色	粒状	疎	湿	明瞭	表層多腐植層
	2	17~33	砂質壤土	富む	含む	黄黒色	塊状	中	湿	漸変	
	3	33~	砂質壤土	富む	頗る富む	黒色	塊状	疎	湿		
花園統 八束村上長田	1	0~14	埴壤土	頗る富む	なし	黒色	塊状	疎	湿	やや明瞭	全層多腐植層
	2	14~32	埴壤土	頗る富む	なし	黒色	塊状	中	湿	漸変	
	3	32~	軽埴壤土	頗る富む	なし	黒色	粒状	疎	湿		
吉田統 中和村吉田	1	0~18	砂質壤土	頗る富む	あり	黄黒色	粒状	疎	湿	やや明瞭	表層多腐植層
	2	18~37	砂質壤土	富む	含む	黄黒色	塊状	中	湿	漸変	
	3	37~	砂質壤土	富む	含む	黒色	単粒	疎	潤		

資料：岡山県立農業試験場『昭和41年度地力保全基本調査成績書』より作成。

注：腐植、礫、密度、湿りの区分基準は表7を参照のこと。

表 1 0 耕地土壌の置換酸度、置換性石灰、腐植の分析成績

(単位:%)

町 村		置換酸度 (y <sub>1</sub> )			置換性石灰			腐植			調査地
		最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	点数
蒜 山 地 域	川上村	4.87	1.37	3.13	0.18	0.11	0.13	18.64	8.97	10.15	6
	八束村	2.50	1.25	1.67	0.19	0.08	0.14	13.19	7.34	9.20	5
	中和村	4.87	1.62	3.17	0.23	0.10	0.16	14.23	5.64	8.96	6
	旧二川村	3.50	1.75	2.35	0.19	0.11	0.15	21.53	6.56	12.74	5
	旧湯原町	2.87	1.12	1.62	0.28	0.14	0.20	11.25	5.42	7.26	5
		3.72	1.42	2.38	0.21	0.11	0.16	15.76	6.78	9.66	27
真庭郡		—	—	2.38	—	—	0.26	—	—	6.86	125

資料：岡山県農業図説（1954年）より作成。

注：（１）調査地点は耕地40haにつき１点とす。表示した調査地点数の中で畑は川上村で１点、真庭郡では１３点、他は水田である。

（２）調査は昭和23~25年に岡山県立農業試験場により低位生産地改良施設事業一般調査として行われた。

（３）置換酸度、置換性石灰含量、腐植含量の区分基準は表１１を参照のこと。

表 1 1 水田土壌の土壌統別化学分析値

土壌統	土層厚さ (cm)	pH	腐植 (%)	置換酸度 y <sub>1</sub>	置換容量 (me)	全炭素 (%)	全窒素 (%)	炭素比	置換性塩基		有効態		磷酸 吸収 係数
									石灰	苦土	磷酸	珪酸	
中福田統 n=19	18 (17)	5.5 (5)	12.5 (22)	3.2 (72)	29.5 (23)	6.9 (25)	0.62 (23)	11.2 (19)	202 (28)	22 59	15.2 (48)	11.7 (43)	1254 (42)
大谷統 n=12	18 (17)	5.3 (7)	10.2 (71)	3.6 (58)	22.4 (14)	4.4 (27)	0.45 (24)	9.7 (15)	171 (33)	21 62	15.2 (37)	7.9 (57)	687 (29)
熊谷統 n=4	17 (18)	5.5 (9)	11.8 (18)	3.0 (47)	21.9 (26)	6.8 (18)	0.54 (13)	12.8 (14)	215 (36)	31 (58)	17.8 (53)	13.8 (47)	1033 (34)
岡中曾統 n=6	17 (18)	5.2 (4)	7.5 (23)	3.4 (65)	22.9 (15)	4.4 (23)	0.51 (22)	8.7 (26)	189 (39)	28 (50)	14.4 (36)	6.2 (27)	703 (26)
間谷統 n=6	16 (13)	5.3 (4)	10.0 (18)	3.9 (39)	27.7 (21)	5.8 (19)	0.58 (19)	10.2 (17)	184 (36)	11 (45)	9.8 (34)	14.1 (26)	1215 (15)
本庄統 n=9	18 (11)	5.3 (6)	7.4 (39)	3.2 (47)	20.6 (13)	4.3 (39)	0.42 (29)	10.0 (17)	182 (13)	22 (59)	14.4 (42)	8.4 (48)	616 (27)
郷原統 n=6	16 (19)	5.2 (7)	11.6 (29)	4.5 (58)	22.9 (42)	6.8 (29)	0.41 (24)	16.6 (21)	171 (29)	19 (53)	13.4 (48)	19.7 (56)	1120 (53)
花園統 n=6	15 (20)	5.3 (6)	15.3 (16)	4.6 (70)	33.0 (17)	8.9 (16)	0.60 (27)	16.0 (35)	185 (31)	21 (81)	8.8 (70)	16.7 (51)	2116 (49)
吉田統 n=6	18 (22)	5.3 (8)	12.0 (23)	3.7 (70)	17.5 (14)	7.0 (23)	0.50 (10)	14.0 (20)	166 (36)	37 (49)	14.0 (28)	11.6 (52)	634 (13)

資料：岡山県立農業試験場『昭和41年度地力保全基本調査成績書』より作成。

注：（１）土層の厚さは表層土の厚さを示す。

（２）pHは水懸濁液の値。炭素比（率）は炭素／窒素として表示。

（３）置換容量は塩基置換容量の略記で風乾土100g当たりmeで示す。

（４）置換性石灰、同苦土および有効態磷酸、同珪酸は風乾土100g当たりmgで示す。

（５）土壌統名に付記したnは調査地点の数で、測定値は平均値を示し、括弧内は変動係数（標準偏差÷平均値×100）である。

（６）土壌の化学成分の区分基準<sup>33)</sup>は以下のとおり。区分基準<sup>33)</sup>は以下のとおり。

作土の厚さ：「良好」25～15cm、「不良」15cm以下。pH：「良好」5.5以上、「中」5.5～5.0、「不良」5.0以下。

置換酸度：「微酸性」y<sub>1</sub>値1～3、「弱酸性」3～6、「強酸性」6～15、「極酸性」15以上。塩基置換容量：「大」20me以上、「中」20～6me、「小」6me以下。置換性石灰：「多」200mg以上、「中」200～100mg、「少」100mg以下。置換性苦土：「多」25mg以上、「中」25～10mg、「少」10mg。有効態磷酸：「多」10mg以上、「中」10～2mg、「少」2mg以下。

有効態珪酸：「多」15mg以上、「中」15～5mg、「少」5mg以下。磷酸吸収係数：「ごく小」700以下、「小」700～1500、「中」1500～2000、「大」2000以上。腐植：表7を参照。

表 1 2 水田土壌の町村別化学分析値

町村	土層厚さ (cm)	pH	腐植 (%)	置換酸度 y <sub>1</sub>	置換容量 (me)	全炭素 (%)	全窒素 (%)	炭素比	置換性塩基		有効態		磷酸 吸収 係数
									石灰	苦土	磷酸	珪酸	
川上村 n=18	17 (15)	5.5 (5)	11.7 (30)	2.6 (46)	27.0 (31)	6.8 (29)	0.52 (33)	13.0 (20)	226 (22)	22 63	14.1 (47)	14.3 (29)	1356 (44)
八束村 n=22	16 (19)	5.4 (6)	10.0 (34)	3.5 (60)	28.6 (23)	5.8 (34)	0.55 (31)	10.7 (43)	163 (27)	11 45	10.7 (46)	13.1 (65)	1295 (63)
中和村 n=13	16 (25)	5.2 (6)	12.9 (22)	4.6 (54)	19.4 (32)	7.4 (23)	0.51 (21)	14.9 (16)	150 (50)	32 50	13.6 (29)	13.0 (47)	827 (47)
旧二川村 n=7	20 (15)	5.4 (9)	11.8 (35)	5.0 (68)	25.8 (26)	6.7 (37)	0.61 (23)	10.7 (13)	152 (36)	32 44	15.7 (43)	5.2 (32)	800 (47)
旧湯原町 n=13	18 (11)	5.3 (4)	8.1 (33)	3.3 (51)	22.1 (11)	4.7 (32)	0.46 (24)	9.9 (17)	205 (22)	31 35	16.5 (49)	7.0 (38)	600 (22)

資料：岡山県立農業試験場『昭和41年度地力保全基本調査成績書』より作成。

注：（１）土層の厚さは表層土の厚さを示す。

（２）pHは水懸濁液の値。炭素比（率）は炭素／窒素として表示。

（３）置換容量は塩基置換容量の略記で風乾土100g当たりmeで示す。

（４）置換性石灰と同苦土および有効態磷酸と同珪酸は風乾土100g当たりmgで示す。

（５）町村名に付記したnは調査地点の数で、測定値は平均値を示し、括弧内は変動係数（標準偏差÷平均値×100）である。

（６）作土の厚さ、pH、腐植、置換酸度、塩基置換容量、置換性石灰と同苦土、有効態磷酸と同珪酸、磷酸吸収係数の区分基準は表 1 1 を参照のこと

表 1 3 畑土壌の断面形態

土壌統	層位	深さ (cm)	土性	腐植	礫	土色	構造	密度	湿り	下層との境界	腐植層序
宮沢統 八束村上長田	1	0~15	軽埴壤土	頗る富む	なし	黒色	細粒状	極く疎	湿	漸変	表層多腐植層
	2	15~39	軽埴壤土	頗る富む	なし	黒色	細粒状	疎	湿	漸変	
	3	39~	軽埴壤土	欠く	なし	明黄褐色	塊状	疎	湿		
富山根統 八束村富山根	1	0~15	軽埴壤土	頗る富む	なし	黒色	細粒状	極く疎	湿	漸変	表層多腐植層
	2	15~47	軽埴壤土	頗る富む	なし	黒色	細塊状	中	湿	漸変	
	3	47~	砂質壤土	含む	浮石層	明黄褐色	単粒状	中	湿		
宇田統 八束村上長田	1	0~14	埴壤土	頗る富む	なし	黒色	細粒状	疎	湿	漸変	表層多腐植層
	2	14~55	埴壤土	頗る富む	なし	黒色	細粒状	疎	湿	漸変	
	3	55~	軽埴壤土	欠く	なし	明黄褐色	細塊状	疎	湿		
見明戸統 旧湯原町 見明戸	1	0~12	壤土	富む	なし	黄褐灰色	細粒状	極く疎	湿	明瞭	表層多腐植層
	2	12~37	壤土	欠く	あり	黄橙色	無構造	密	湿	漸変	
	3	37~	壤土	欠く	腐朽礫土	明黄褐色	無構造	密	湿		
中島統 八束村下福田	1	0~14	軽埴壤土	頗る富む	なし	黒色	細粒状	極く疎	湿	漸変	全層多腐植層
	2	14~41	軽埴壤土	頗る富む	なし	黒色	細粒状	疎	湿	漸変	
	3	41~	軽埴壤土	頗る富む	なし	黒色	細粒状	疎	湿		
茅森統 旧湯原町豊栄	1	0~10	砂質壤土	含む	あり	灰黄褐色	粒状	疎	湿	やや明瞭	表層多腐植層なし
	2	10~17	砂質壤土	欠く	含む	灰黄褐色	粒状	中	湿	漸変	
	3	17~37	砂質壤土	欠く	腐朽礫土	明黄褐色	無構造	中	湿		

資料：岡山県立農業試験場『昭和41年度地力保全基本調査成績書』より作成。

(注)：腐植、礫、密度、湿りの区分基準は表 7 を参照のこと。

表 1 4 畑土壌の土壌統別化学分析値

土壌統	土層厚さ (cm)	pH	腐植 (%)	置換酸度 y <sub>1</sub>	置換容量 (me)	全炭素 (%)	全窒素 (%)	炭素比	置換性塩基		有効態 磷酸	磷酸 吸収 係数
									石灰	苦土		
宮沢統 n=18	17 (24)	5.3 (6)	21.3 (15)	5.3 (66)	45.6 (27)	12.3 (15)	0.68 (16)	18.2 (12)	173 (51)	21 (67)	4.7 (70)	2510 (15)
富山根統 n=9	17 (12)	5.3 (6)	19.3 (31)	10.2 (85)	45.5 (28)	11.2 (30)	0.67 (27)	16.4 (13)	107 (70)	21 (50)	4.0 (50)	2504 (7)
宇田統 n=10	16 (19)	5.4 (9)	20.4 (18)	9.9 (89)	48.9 (17)	11.9 (18)	0.65 (15)	18.3 (12)	179 (127)	19 (74)	3.8 (71)	2596 (14)
見明戸統 n=7	15 (27)	5.8 (9)	7.9 (39)	1.3 (69)	26.2 (20)	4.6 (39)	0.34 (32)	13.6 (25)	404 (62)	46 (26)	28.2 (51)	1020 (39)
中島統 n=1	14	4.3	23.1	25.5	52.9	13.4	0.76	17.6	20	19	2.8	2085
茅森統 n=2	11	6.1	3.6	4.4	19.8	0.9	0.15	6.0	218	40	19.8	444

資料：岡山県立農業試験場『昭和41年度地力保全基本調査成績書』より作成。

注：（１）土層の厚さは表層土の厚さを示す。

（２）pHは水懸濁液の値。炭素比（率）は炭素／窒素として表示。

（３）置換容量は塩基置換容量の略記で風乾土100g当たりmeで示す。

（４）置換性石灰と同苦土および有効態磷酸は風乾土100g当たりmgで示す。

（５）土壌統名に付記するnは調査地点数を示し、分析値は平均値で括弧内は変動係数（標準偏差÷平均値×100）である。

（６）pH、腐植、置換酸度、塩基置換容量、置換性石灰と同苦土、有効態磷酸、磷酸吸収係数の区分基準は表 1 1 を参照のこと。作土の厚さの区分基準は次による。

区分基準<sup>37)</sup>；作土の厚さ「良好」25cm以上、「中」25～15cm、「不良」15cm以下。

表 1 5 畑土壌の町村別化学分析値

町村	土層厚さ (cm)	pH	腐植 (%)	置換酸度 y <sub>1</sub>	置換容量 (me)	全炭素 (%)	全窒素 (%)	炭素比	置換性塩基		有効態 磷酸	磷酸 吸収 係数
									石灰	苦土		
川上村 n=11	15 (20)	5.4 (5)	18.5 (30)	9.3 (91)	48.3 (29)	10.7 (30)	0.62 (24)	17.1 (16)	150 (50)	10 (30)	5.6 (98)	2452 (27)
八束村 n=24	17 (23)	5.3 (7)	21.8 (13)	11.0 (74)	49.3 (11)	12.6 (12)	0.71 (11)	17.9 (9)	162 (106)	25 (48)	3.7 (51)	2502 (10)
中和村 n=5	16 (19)	5.4 (7)	15.4 (41)	6.7 (101)	25.3 (16)	8.8 (42)	0.50 (28)	18.2 (23)	266 (25)	33 (51)	24.4 (83)	1832 (43)
旧湯原町 n=6	13 (15)	6.1 (8)	6.7 (60)	2.2 (136)	25.4 (19)	3.6 (72)	0.28 (46)	12.0 (34)	411 (68)	45 (13)	20.0 (46)	933 (50)
旧二川村 n=2	13	4.8	17.2	22.7	31.2	10.0	0.57	17.5	48	5	3.2	2709
	22	5.2	5.0	0.7	13.2	2.9	0.22	13.2	288	32	24.3	376

資料：岡山県立農業試験場『昭和41年度地力保全基本調査成績書』より作成。

注：（１）土層の厚さは表層土の厚さを示す。

（２）pHは水懸濁液の値。炭素比（率）は炭素／窒素として表示。

（３）置換容量は塩基置換容量の略記で風乾土100g当たりmeで示す。

（４）置換石灰と同苦土および有効態磷酸は風乾土100g当たりmgで示す。

（５）町村名に付記したnは調査地点の数で、分析値は平均を示し、括弧内は変動係数（標準偏差÷平均値×100）を示す。

（６）旧二川村は2地点の数値を示す。

（７）作土の厚さ、pH、腐植、置換酸度、塩基置換容量、置換性石灰と同苦土、有効態磷酸、磷酸吸収係数の区分基準は表14を参照のこと。

表 1 6 蒜山山地と山陰の気温と降水量の比較

観測地点 (標高)	平均気温			年較差	日最高・最低気温の月平均値				5~9月 平均気温
	1月	8月	全年		1月		8月		
					最高	最低	最高	最低	
上長田 (440m)	-0.4	24.7	11.6	25.1	4.1	-4.8	30.0	19.3	20.6
関金 (148m)	3.1 (3.5)	25.9 (1.2)	13.8 (2.2)	22.8 (2.3)	6.6 (2.5)	-0.5 (4.3)	30.6 (0.6)	21.1 (1.8)	21.8 (1.2)
米子 (6m)	3.6 (4.0)	26.4 (1.7)	14.1 (2.5)	22.9 (2.2)	7.2 (3.1)	0.0 (4.8)	30.4 (0.4)	22.4 (3.1)	22.3 (1.7)
松本 (610m)	-1.6 (-1.2)	24.7 (0.0)	11.1 (-0.5)	26.3 (1.2)	4.4 (0.3)	-6.4 (-1.6)	30.6 (0.6)	19.4 (0.1)	20.6 (0.0)

観測地点 (標高)	降水量		
	全年	5~9月	12~3月
上長田 (400m)	1951	898	634
関金 (148m)	1903 (-48)	834 (-64)	628 (-6)
米子 (6m)	1823 (-128)	872 (-26)	551 (-83)
松本 (610m)	1063 (-888)	615 (-283)	188 (-446)

資料：岡山県『蒜山の自然と人文』より作成。ただし、松本は理科年表（昭和42年）による。

注：（１）1916~1950 年の35年間あるいは1921~1950 年の30年間、ただし松本は1931~1960 年の30年間の平均値。

（２）括弧内は上長田との較差。



— 平均気温 (°C)

図2 年平均気温分布 (1954年岡山県農業図説による)

表 1 7 旭川流域 5 地点における月別平均気温

(単位:℃)

月	上長田	湯原		久世		福渡		岡山	
	実数	実数	較差	実数	較差	実数	較差	実数	較差
1	0.1	1.0	0.9	2.3	2.2	2.8	2.7	3.9	3.8
2	0.9	2.1	1.2	3.3	2.4	3.8	2.9	4.7	3.8
3	4.7	5.2	0.5	6.4	1.7	6.9	2.2	8.2	3.5
4	9.9	10.7	0.8	11.9	2.0	12.5	2.6	13.2	3.3
5	14.5	15.2	0.7	16.7	2.2	17.1	2.6	17.6	3.1
6	18.6	19.6	1.0	20.9	2.3	21.3	2.7	21.8	3.2
7	23.4	24.3	0.9	25.5	2.1	25.7	2.3	26.1	2.7
8	24.1	24.4	0.3	26.3	2.2	26.7	2.6	27.4	3.3
9	19.7	20.5	0.8	21.5	1.8	22.2	2.5	23.3	3.6
10	13.3	14.5	1.2	15.3	2.0	16.2	2.9	17.0	3.7
11	7.9	8.8	0.9	9.7	1.8	10.8	2.9	11.7	3.8
12	3.3	4.0	0.7	4.8	1.5	5.6	2.3	6.6	3.3
全年	11.7	12.5	0.8	13.7	2.0	14.3	2.6	15.1	3.4
年較差	24.0	23.4	0.6	24.0	0.0	23.9	0.1	23.5	0.5
暖かさの指数	91	98		109		115		123	
寒さの指数	-11.0	-7.9		-3.6		-3.4		-1.4	

資料：岡山測候所『岡山気象月報』昭和25年～昭和36年より作成。

注：（１）月の平均気温は平均日最高気温と日最低気温の平均値。

（２）較差は上長田との気温差を示す。

（３）暖かさの指数（温量指数）は月平均気温 5℃以上の月の平均気温から 5度をひいた数字を合計して求める。寒さの指数は月平均気温 5℃以下の月について、月平均気温と 5度とのひらきを合計して求め、数字にマイナスをつける。

表 1 8 旭川流域 5 地点における日最高気温の月別平均値 (単位:℃)

月	上長田	湯原		久世		福渡		岡山	
	実数	実数	較差	実数	較差	実数	較差	実数	較差
1	3.8	4.9	1.1	6.9	3.1	8.0	4.2	8.7	4.9
2	5.3	6.4	1.1	8.6	3.3	9.6	4.3	9.9	4.6
3	9.7	10.4	0.7	12.2	2.5	13.1	3.4	13.3	3.6
4	16.1	16.7	0.6	18.6	2.5	19.3	3.2	18.9	2.8
5	20.8	21.0	0.2	23.3	2.5	23.4	2.6	23.0	2.2
6	23.6	24.7	1.1	26.4	2.8	26.6	3.0	26.5	2.9
7	27.7	28.7	1.0	30.1	2.4	30.0	2.3	30.1	2.4
8	28.9	29.0	0.1	31.4	2.5	31.5	2.6	31.8	2.9
9	24.1	24.8	0.7	26.0	1.9	26.9	2.8	27.8	3.7
10	18.0	18.9	0.9	21.0	3.0	22.1	4.1	22.4	4.4
11	13.1	14.0	0.9	15.6	2.5	17.1	4.0	17.6	4.5
12	7.4	8.4	1.0	10.0	2.6	11.4	4.0	11.9	4.5
全年	16.5	17.3	0.8	19.2	2.7	19.9	3.4	20.4	3.9
年較差	25.1	24.1	-1.0	24.5	-0.6	23.5	-1.6	23.1	-2.0

資料：表 1 7 に同じ。

注：較差は上長田との気温差を示す。

表 1 9 旭川流域 5 地点における日最低気温の月別平均値 (単位:℃)

月	上長田	湯原		久世		福渡		岡山	
	実数	実数	較差	実数	較差	実数	較差	実数	較差
1	-3.7	-2.9	0.8	-2.3	1.4	-2.5	1.2	-0.8	2.9
2	-3.5	-2.3	1.2	-2.0	1.5	-2.0	1.5	-0.5	3.0
3	-0.6	0.2	0.8	0.5	1.1	0.7	1.3	2.9	3.5
4	3.7	4.9	1.2	5.2	1.5	5.8	2.1	7.6	3.9
5	8.5	9.5	1.0	10.2	1.7	10.8	2.3	12.6	4.1
6	13.7	14.5	0.8	15.5	1.8	16.0	2.3	17.5	3.8
7	19.3	20.0	0.7	21.0	1.7	21.4	2.1	22.4	3.1
8	19.3	19.9	0.6	21.1	1.8	21.8	2.5	23.0	3.7
9	15.3	16.3	1.0	17.0	1.7	17.6	2.3	18.6	3.3
10	8.3	9.9	1.6	9.7	1.4	10.4	2.1	11.5	3.2
11	2.5	3.6	1.1	3.8	1.3	4.5	2.0	5.8	3.3
12	-1.1	-0.4	0.7	-0.3	0.8	-0.3	0.8	1.1	2.2
全年	6.8	7.8	1.0	8.3	1.5	8.7	1.9	10.1	3.3
年較差	23.0	22.9	-0.1	23.4	0.4	24.3	1.3	23.8	0.8

資料：表 1 7 に同じ。

注：較差は上長田との気温差を示す。

表 2 0 蒜山地域 2 地点と岡山の積算温度

(単位:℃)

地点	0℃以上		5℃以上		10℃以上	
	積算温度	期間(平均気温)	積算温度	期間(平均気温)	積算温度	期間(平均気温)
上長田	4252	2月上旬~1月上旬(12.0)	2010	3月下旬~11月下旬(16.0)	1165	4月下旬~10月下旬(18.6)
湯本	4600	1月上旬~12月下旬(12.5)	3024	3月中旬~12月上旬(16.0)	1859	4月中旬~11月上旬(18.6)
岡山	5546	1月上旬~12月下旬(15.1)	3769	2月下旬~12月下旬(16.9)	2394	4月上旬~11月下旬(19.8)

資料：表 1 7 に同じ。

注：積算温度は 0℃以上、5℃以上、10℃以上の日平均気温を積算したもの。

表 2 1 蒜山地域 2 地点における

日最高気温と日最低気温の旬別平均値

(単位:℃)

月	旬	日最高気温		日最低気温	
		上長田	湯本	上長田	湯本
1	上	4.2	5.4	-2.8	-2.3
	中	3.4	4.1	-4.1	-3.2
	下	3.6	4.9	-4.1	-3.0
2	上	4.6	6.5	-3.6	-1.6
	中	4.5	5.3	-3.7	-3.0
	下	6.7	7.4	-3.3	-2.2
3	上	8.0	8.8	-1.1	-0.5
	中	10.0	10.0	-0.8	-0.4
	下	11.1	12.1	0.9	1.3
4	上	14.4	14.5	1.6	2.1
	中	15.8	16.2	4.0	4.2
	下	18.2	19.3	5.5	7.8
5	上	19.4	19.7	7.2	8.6
	中	20.6	20.2	8.4	9.5
	下	21.8	22.7	9.7	10.4
6	上	22.6	23.6	11.8	12.2
	中	23.7	24.8	13.2	14.1
	下	24.4	25.6	16.3	17.0

月	旬	日最高気温		日最低気温	
		上長田	湯本	上長田	湯本
7	上	25.5	26.5	18.8	19.7
	中	27.6	29.3	19.3	19.7
	下	29.7	30.0	19.8	20.3
8	上	29.5	30.1	19.5	20.1
	中	29.2	28.9	19.6	19.9
	下	27.9	28.0	19.0	19.1
9	上	25.9	26.9	17.3	18.3
	中	24.2	24.7	15.2	16.0
	下	22.2	22.8	13.3	14.4
10	上	19.7	20.6	11.0	12.1
	中	18.0	19.1	8.0	10.2
	下	16.6	17.2	6.6	7.7
11	上	15.5	16.0	3.8	5.4
	中	12.5	13.7	2.4	3.3
	下	11.6	12.3	1.3	2.2
12	上	8.9	10.2	0.2	0.5
	中	8.0	8.8	-0.9	-0.2
	下	5.4	6.3	-2.0	-1.4

資料：表 1 7 に同じ。

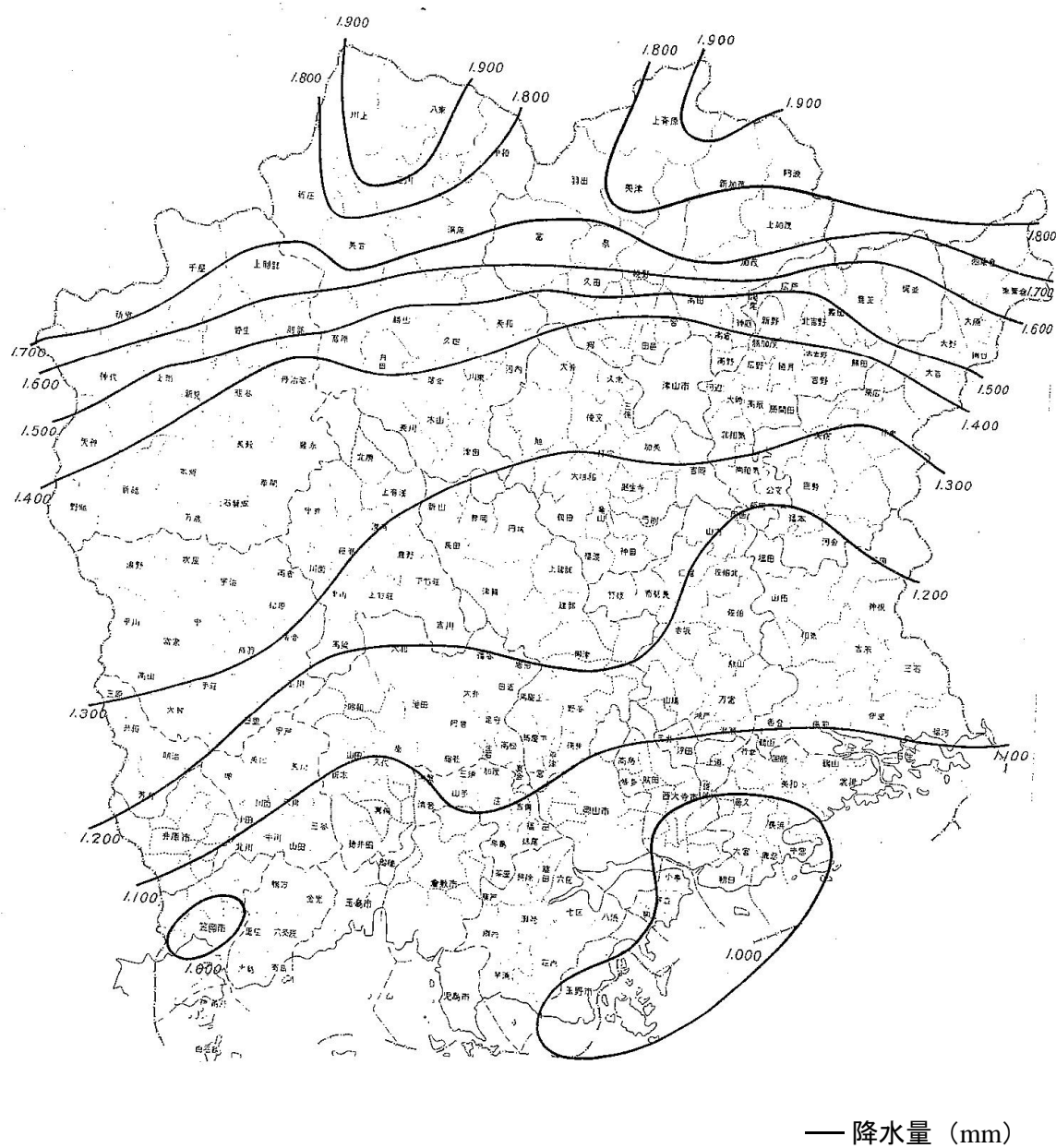


図3 年降水量分布 (1954年岡山県農業図説による)

表 2 2 旭川流域 5 地点における降水量と降水日数

月	降水量 (mm)					降水日数 (降水量 $\geq$ 1mm)				
	上長田	湯本	久世	福渡	岡山	上長田	湯本	久世	福渡	岡山
1	171	129	72	55	51	21	18	11	7	6
2	162	116	79	63	54	18	16	11	7	6
3	152	124	96	94	85	18	15	12	10	9
4	124	133	145	135	112	12	11	11	10	10
5	136	151	157	139	126	12	12	12	12	11
6	207	212	222	212	175	13	13	13	13	12
7	277	291	250	198	196	12	13	13	12	12
8	189	173	151	129	105	11	11	9	9	7
9	233	210	204	201	165	15	14	13	12	11
10	172	132	110	97	84	12	11	8	8	7
11	142	99	67	66	60	14	12	8	6	6
12	138	84	45	35	30	17	13	8	6	5
全年	2103	1854	1598	1424	1243	175	159	129	112	102
比率(A)	43.0	47.7	51.7	51.9	51.5	29.1	32.0	37.2	41.0	41.1
比率(B)	29.6	24.4	18.2	17.3	17.6	42.2	39.0	32.5	26.8	25.5

資料：表 1 7 に同じ。

注：比率（A）と（B）はそれぞれ年間降水量に占める 6～9 月と 1 2～3 月の降水量の割合（％）。

表 2 3 旭川流域 5 地点における  
降水量別降水日数 (単位: 日)

地点	降水量区分	全年		6、7、9月	
		降水日数	割合 (%)	降水日数	割合 (%)
上 長 田	≥1mm	175	100.0	40	100.0
	1~10mm	108	61.7	18	45.0
	10~30mm	50	28.6	14	35.0
	≥30mm	17	9.7	8	20.0
湯 本	≥1mm	159	100.0	40	100.0
	1~10mm	99	62.2	19	47.5
	10~30mm	47	29.6	14	35.0
	≥30mm	13	8.2	7	17.5
久 世	≥1mm	129	100.0	39	100.0
	1~10mm	77	59.7	19	48.7
	10~30mm	39	30.2	14	35.9
	≥30mm	13	10.1	6	15.4
福 渡	≥1mm	112	100.0	37	100.0
	1~10mm	64	57.1	17	45.9
	10~30mm	36	32.1	13	35.2
	≥30mm	12	10.7	7	18.9
岡 山	≥1mm	102	100.0	35	100.0
	1~10mm	62	60.8	19	54.2
	10~30mm	24	23.5	10	28.6
	≥30mm	16	15.7	6	17.2

資料 : 表 1 7 に同じ。

注 : 降水量1mm 以上の降水日数に占める降水量区分別降水日数の割合。

表 2 4 旭川流域 5 地点における降雪と降霜

(単位:日)

地点	降雪								降霜		
	月別積雪日数							初雪日	終雪日	初霜日	終霜日
	1	2	3	4	11	12	全年				
上長田	26 (51)	24 (50)	10 (22)	0.5 (0.8)	2 (5)	9 (17)	71.5	11月 21日	4月 9日	10月 21日	5月 10日
湯本	17 (26)	16 (32)	6 (9)	0.2 (0.0)	0.8 (1)	5 (6)	45.0	11月 23日	4月 3日	10月 25日	5月 6日
久世	8 (12)	7 (10)	2 (4)	－ (－)	0.2 (0.0)	2 (2)	19.2	12月 3日	3月 22日	11月 7日	4月 27日
福渡	3 (3)	3 (3)	0.7 (0.5)	－ (－)	－ (－)	0.2 (0.2)	6.9	12月 9日	3月 21日	11月 11日	4月 23日
岡山	1 (0.4)	1 (2)	0.2 (0.0)	－ (－)	－ (－)	0.0 (0.0)	2.2	12月 11日	3月 15日	11月 9日	4月 16日

資料：(1) 積雪日数と終雪日は岡山測候所『岡山県気象月報』昭和25年～昭和36年より作成。

(2) 初雪日、初霜日、終霜日は岡山気象同好会・岡山測候所『岡山の気象』No. 25(昭和28年)、No. 44 (昭和29年)、No. 47(昭和30年)より作成。

注：積雪日数欄の括弧内は午前9 時の月平均最大積雪深(cm)を示す。

表 2 5 旭川流域 5 地点における日照時間と快晴・曇天日数

月	日照時間(時間)				快晴日数(日)					曇天日数(日)				
	上長田	久世	福渡	岡山	上長田	湯本	久世	福渡	岡山	上長田	湯本	久世	福渡	岡山
1	68	84	109	147	2	2	3	7	12	25	23	20	18	14
2	97	97	117	152	4	3	4	6	8	20	19	17	19	14
3	128	135	143	184	4	6	5	7	8	20	19	18	20	16
4	178	157	160	198	6	9	8	8	8	16	15	16	18	16
5	183	150	146	202	7	8	8	7	7	17	18	16	21	19
6	166	96	96	173	3	6	4	3	3	15	17	19	23	22
7	75	135	144	198	4	8	4	2	5	15	16	19	23	20
8	182	162	180	245	5	8	7	6	8	13	15	15	18	15
9	131	128	132	166	3	7	7	5	7	17	18	18	20	19
10	115	134	147	175	4	5	5	8	9	20	16	17	18	15
11	121	100	119	172	7	7	3	9	14	16	14	20	16	12
12	86	90	121	160	3	6	3	7	11	19	18	20	19	13
年	1530	1468	1614	2172	52	75	61	75	100	213	208	215	233	195
*	737	771	698	984	22	37	30	23	31	77	84	87	105	95

資料：(1) 日照時間は、上長田は岡山県立農業試験場高冷地試験地『観測資料』昭和30年～昭和36年より、岡山は岡山測候所『岡山県気象月報』昭和25年～昭和36年より、久世と福渡は岡山地方气象台「岡山県気象年表」平成6年～平成10年より作成。

(2) 快晴・曇天日数は岡山測候所『岡山県気象月報』昭和25年～昭和36年より作成。ただし、湯本は『同資料』昭和31年～昭和36年より作成。

注：(1) 快晴と曇天日数は午前9時の観測、曇天は雲量8以上であるため雨雪の日も含まれる。

(2) \*印の欄は5～9月の合計を示す。

表 2 6 ブナ林の植生

高木層	亜高木層	低木層1	低木層2	草本層	
ブナ 5・5 コシアブラ 1・1 ヤマサクラ 1・1 ミズナラ 1・1 イタヤカエデ 1・1	ブナ 2・2 ナナカマド 1・2 リョウブ 1・2 コハチワカエデ 1・1 ウリハダカエデ 1・1 イタヤカエデ 1・1	オオカメノキ 2・2 ブナ 1・2 リョウブ 1・1 ハウチワカエデ + ホウノキ + ツリバナ + ウスゲ クロモジ +	チシマザサ 5・5 ハイヌカヤ + クロモジ + ヤマアジサイ + ミヤマカマスミ + ホオノキ +	カンスゲ 3・3 ヤマソテツ 1・2 シシガシラ 1・2 ハイヌカヤ + 2 ヤマアジサイ + 2 ムラサキユミ + ヒメモチ + チョユリ +	スミレサイシ + タンナサワフタギ + ツタウルシ + イワカガミ + イタヤカエデ + ツクハネソウ + ツルリントウ + ヤマホウシ +
18m;90%	10m;40%	4m;40%	1. 2m;90%	0. 4m;30%	

資料：岡山県『第2 回自然環境保全基礎調査・植生調査報告書』より作成。

注：（１）調査地は川上村、標高1000m、斜面中位の凸部、傾斜35度、調査時期1973年8月。

（２）植物に付記する数字は左から被度・群度を示す。

（３）表の下段に植物層の高さ；植被率を示す。

（４）被度、群落の表示区分は以下のとおり。

被度：「5」75~100%、「4」50~75%、「3」25~50%、「2」10~25%、「1」1~10%、「+」1%以下。

群度（個体の群生状況）：「5」カーペット状、「4」穴のあいたカーペット状、「3」大きなシマ状、「2」小さなシマ状、「1」孤立。

表 2 7 ブナ・ミズナラ林の植生

高木層	亜高木層	低木層1	低木層2	μ本層	
ミズナラ 5・5 ヨグソミネハリ2・2 ブナ 2・1 イワカミ +	ナカマト 1・2 ヤマボウシ 1・1 ナツハキ 1・1	クロモジ 2・2 ヤマボウシ1・2 リョウブ 1・2 ヤマウルシ 1・2 ミズナラ 1・2 ハクウンボク + ミヤマカマスミ+ ツタウルシ +	チシマササ 5・5 クロモジ + タンナサワタギ+ ウリハタカエデ+	イワカミ 4・2 タンナサワタギ+ ミヤマカンスゲ + シシカシラ + カンスゲ + ムラサキマユミ + コハウチワカエデ+ オオカメノキ +	リョウブ + ヤマウルシ + ハイイヌカヤ+ イタヤカエデ+ ミズナラ +
25m;90%	8m;20%	4m;20%	1.5m;100%	0.2m;5%	

資料：表 2 6 に同じ。

注：（１）調査地点は川上村、標高880m、斜面下位、傾斜30度、  
調査時期は1973年8 月。

（２）植物名に付記する数字と+および最下段については表 2 6 を参照のこと。

表 2 8 クリ・ミズナラ林の植生

高木層	亜高木層	低木層		μ本層1	μ本層2	
コナラ 5・5	アオハダ <sup>+</sup> 3・3	クロモジ <sup>+</sup> 2・2	イワガラミ <sup>+</sup>	チシマササギ4・4	イヌツゲ <sup>+</sup> 2・2	キツネササギ <sup>+</sup>
クリ 2・2	ソヨゴ <sup>+</sup> 3・3	ソヨゴ <sup>+</sup> 2・2	ホオノキ <sup>+</sup>	イヌツゲ <sup>+</sup> 2・2	タンナサワフタギ <sup>+</sup> 1・2	オオハ <sup>+</sup> ノ
ミズナラ <sup>+</sup>	リョウブ <sup>+</sup> 2・2	イヌツゲ <sup>+</sup> 1・2	イタヤカエデ <sup>+</sup>	エゾ <sup>+</sup> ユズリハ1・2	シュンラン 1・2	トンボ <sup>+</sup> ソウ
ヤマサ <sup>+</sup> クラ	オオカメノキ1・2	ヤマウルシ 1・2	ウケ <sup>+</sup> イスカゲ <sup>+</sup> ラ	ヒメモチ <sup>+</sup>	ウリハダ <sup>+</sup> カエデ <sup>+</sup>	タチオデ <sup>+</sup>
ミツハ <sup>+</sup> アケビ <sup>+</sup>	エコ <sup>+</sup> ノキ 1・2	ヤマホ <sup>+</sup> ウシ1・2	ハイイサ <sup>+</sup> カ <sup>+</sup> ヤ	イヌエンジ <sup>+</sup> ユ	ソヨゴ <sup>+</sup>	サルトリイハ <sup>+</sup> ラ
	ウミミ <sup>+</sup> サ <sup>+</sup> クラ1・1	ミヤマカ <sup>+</sup> マス <sup>+</sup> ミ	ナツハセ <sup>+</sup>	ツリハ <sup>+</sup> ナ	エコ <sup>+</sup> ノキ	ミヤマシキミ <sup>+</sup>
	ヤマホ <sup>+</sup> ウシ1・1	エコ <sup>+</sup> ノキ	ハウチワカエデ <sup>+</sup>	ワラビ <sup>+</sup>	イチヤクソウ <sup>+</sup>	マツフ <sup>+</sup> サ
	タムシハ <sup>+</sup> 1・1	コマユミ <sup>+</sup>	マツフ <sup>+</sup> サ	ミズナラ <sup>+</sup>	チコ <sup>+</sup> ユリ	イワカ <sup>+</sup> シラ
	コナラ 1・1	ムラサキシキブ <sup>+</sup>	アワフ <sup>+</sup> キ		コハ <sup>+</sup> ノカ <sup>+</sup> マス <sup>+</sup> ミ	シシカ <sup>+</sup> シラ
	イヌエンジ <sup>+</sup> ユ	コハウチワカエデ <sup>+</sup>	イロハモシ <sup>+</sup>		ミズ <sup>+</sup> キ	ウラジ <sup>+</sup> ロノキ
	ミツハ <sup>+</sup> アケビ <sup>+</sup>	ツノハシハ <sup>+</sup> ミ	ダ <sup>+</sup> イコウハ <sup>+</sup> イ		ミヤマカ <sup>+</sup> マス <sup>+</sup> ミ	ミヤマナルコユリ <sup>+</sup>
					ヤブ <sup>+</sup> コウジ <sup>+</sup>	ヤマウルシ <sup>+</sup>
13m;90%	6m;80%	2m;40%		0.8m;70%	0.3m;20%	

資料：表 2 6 に同じ。

注：（１）調査地は川上村、標高640m、斜面上位、傾斜10度、調査時期1973年8月。

（２）植物名に付記する数字と＋および最下段については表 2 6 を参照のこと。

表 2 9 ススキ草原の植生

μ本層1	μ本層2
ススキ 5・5	チゴユリ 1・2
タニウツギ 1・2	シラヤマギ 1・2
トダシハ 1・2	ミツハツチケリ 1・2
ミヤマザクラ+・2	オカトラノオ +・2
ヨモギ +・2	ニガナ +
ヤマハギ +・	シハイスミレ +
ワラビ +	ツリガネニシジク+
オミナエシ +	ショウジョウソコ+
ナガハモシイチョ	
イカギク +	
1m;100%	0.2m;15%

資料：表 2 6 に同じ。

注：（１）調査地は川上村、標高880m、  
傾斜25度。調査時期は1973年8 月。  
（２）植物名に付記する数字と+  
および最下段については表 2 6  
を参照のこと。

表 3 0 蒜山地域における牧野の植生と生草量

調査地	地形	出現植物数			優占植物		生量 (kg/10a)	利用目的
		科	属	種	木本	草本		
川上村 白髪	三平山麓 台地、傾斜約15度	20 (5)	33 (5)	36 (6)	ワラビ	クリ	990	放牧
川上村 茅部	茅部野 平坦地	19 (11)	28 (11)	33 (13)	シバ	アキクミ スルデ	1125	放牧・採
八束村 百合原	上蒜山麓裾野 傾斜約10度	16 (6)	22 (6)	22 (7)	ネザサ ワラビ	クリ	675	放牧
八束村 宇田	下蒜山麓丘陵 傾斜10度	18 (6)	23 (6)	26 (9)	シバ ネザサ	カシワ コナラ	450	採
八束村 宇田	下蒜山麓丘陵 凹地	25 (11)	33 (11)	36 (12)	シバ	クリ	675	採
中和村 常藤	丘陵 傾斜度約10度	18 (4)	27 (4)	33 (5)	ワラビ シバ	クヌギ	383	採
川上村 苗代	川上台苗代川流域 丘陵緩傾斜	12 (2)	20 (2)	21 (2)	ワラビ トダシバ	クヌギ	903	採

資料：岡山県『蒜山地区酪農振興調査報告書』より作成。なお、表の最下段（川上村苗代）は岡山県『蒜山原土地利用基礎調査報告書』による。

注：（１）調査時期は表の上段 6 地点は昭和 2 6 年 6 月、表の最下段 1 地点は昭和 2 7 年。

（２）出現植物数：調査地に出現する草本と木本植物の科、属、種の数、括弧内は木本類の数。生草量は報告書では反当たり貫で表示される。

表 3 1 蒜山地域における牧野の植物組成

蒜山山地・川上台地白髪地区		蒜山山地・蒜山原宇田地区		中和山地常藤地区	
ワラビ 3	オカラノオ+	シバ 4	アリノトウグサ+	ワラビ 4	ミヤコグサ +
シバ 2	アリノトウグサ+	ネササ 3	イヌツゲ+	シバ 3	ワレモコウ +
ヤマハギ 2	オトギリソウ+	レンゲツツジ 2	ヒメハギ+	ネササ 3	ミツハツチグサ +
ススキ 1	ヒメハギ+	ヤマハギ 1	ウメハチソウ+	レンゲツツジ 2	ウメハチソウ+
ニガナ +	メトハギ+	ススキ 1	カミエビ+	ススキ 1	カナビキソウ+
アキノキリンソウ+	ミヤコグサ+	チガヤ 1	サルトリイバラ+	チガヤ 1	ノギラン+
オトコヨモギ+	ミツハツチグサ+	ワラビ 1	コヌカグサ+	ヤマハギ 1	ギボウシ+
シラヤマギク+	オキナグサ+	ニガナ +	アカマツ+	タカサゴソウ+	コヌカグサ +
サワヒヨドリ+	ノギラン+	キキョウ+		ニガナ+	
キキョウ+	ネササ +	マツムシソウ+		オカラノオ+	
マツムシソウ+	チガヤ+	スズサイコ+		アリノトウグサ+	
ヒキヨモギ +	コヌカグサ +	ヤマニンジン+		ヒメハギ+	
スズサイコ +		ノチトメ+		メトハギ+	

資料：表 3 0 に同じ。

注：植物名に付記する数字と+印は植物の出現程度を次のように示す。

5；最も多い、4；多い、3；少ない、2；やや少ない、1；稀れ

+：極く稀れ。

表 3 2 昭和 2 5 年の人口とその推移

(単位:人)

町 村		昭和25年(1950)					人口増加倍率(倍)			
		人口								
		総数	男	女	性比	密度	昭和 15/10	昭和 22/15	昭和 25/22	昭和 25/10
蒜 山 地 域	川上村	3, 737	1, 857	1, 880	98. 8	49	1. 03	1. 22	0. 95	1. 21
	八束村	4, 492	2, 216	2, 276	97. 4	71	1. 02	1. 23	1. 00	1. 26
	中和村	1, 708	870	838	103. 8	36	0. 98	1. 19	1. 03	1. 20
	旧二川村	2, 371	1, 182	1, 189	99. 4	37	0. 94	1. 24	1. 02	1. 19
	旧湯原町	5, 142	2, 488	2, 654	93. 7	67	0. 98	1. 22	1. 00	1. 19
		17, 450	8, 613	8, 837	97. 4	53	0. 99	1. 22	1. 00	1. 21
対真庭郡比		23. 2	23. 3	23. 2	(96. 9)	(90)	(1. 00)	(1. 23)	(1. 00)	(1. 23)
対岡山県比		1. 05	1. 07	1. 03	(93. 9)	(235)	(1. 00)	(1. 22)	(1. 03)	(1. 25)

資料：昭和 2 5 年国勢調査報告より作成。

注：(1) 性比は女子人口100 人当たり男子人口。

(2) 密度は 1 km<sup>2</sup>当たり人口。

(3) 対真庭郡比及び対岡山県比は蒜山地域における人口の真庭郡及び岡山県の同人口に対する比率。なお、最下段の括弧内は真庭郡および岡山県の実数。

表 3 3 年 齡 階 級 別 人 口 性 比

(単位:%)

年 齡 階 級	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
年 齡 全 階 級	98. 8	97. 4	103. 8	99. 4	93. 7	97. 4	96. 9	93. 9
0~4歳	94. 2	104. 1	100. 0	92. 9	105. 9	100. 4	103. 3	104. 2
5~9	86. 6	112. 2	117. 8	97. 6	93. 8	99. 5	103. 2	102. 8
10~14	111. 4	91. 7	103. 4	109. 6	97. 9	100. 9	101. 7	102. 5
15~19	128. 7	105. 9	118. 2	120. 5	103. 1	112. 9	107. 8	94. 6
20~24	116. 5	98. 4	106. 4	116. 7	75. 7	98. 0	94. 7	89. 7
25~29	87. 2	84. 0	95. 5	65. 1	91. 1	85. 4	82. 5	80. 4
30~34	68. 6	76. 6	83. 8	78. 5	73. 5	74. 8	79. 0	78. 2
35~39	99. 0	85. 2	83. 7	102. 8	78. 5	88. 1	83. 2	86. 4
40~44	93. 3	97. 5	97. 7	128. 2	97. 8	100. 0	95. 5	92. 6
45~49	108. 3	117. 1	104. 2	89. 2	83. 7	99. 1	96. 2	97. 3
50~54	93. 4	100. 9	144. 4	117. 0	135. 1	114. 9	107. 5	103. 5
55~59	109. 2	115. 2	140. 9	100. 0	136. 7	119. 7	108. 8	102. 6
60~64	108. 9	102. 9	141. 1	92. 7	91. 1	101. 5	102. 0	95. 8
65~69	96. 4	83. 8	80. 8	110. 0	67. 7	83. 5	92. 9	85. 9
70~74	105. 2	70. 0	64. 0	90. 6	88. 0	84. 4	85. 0	79. 0
75~79	61. 5	83. 3	80. 0	62. 5	91. 2	75. 9	80. 0	71. 2
80歳以上	72. 7	52. 6	120. 0	88. 9	50. 0	65. 6	66. 0	58. 2

資料：表 3 2 に同じ。

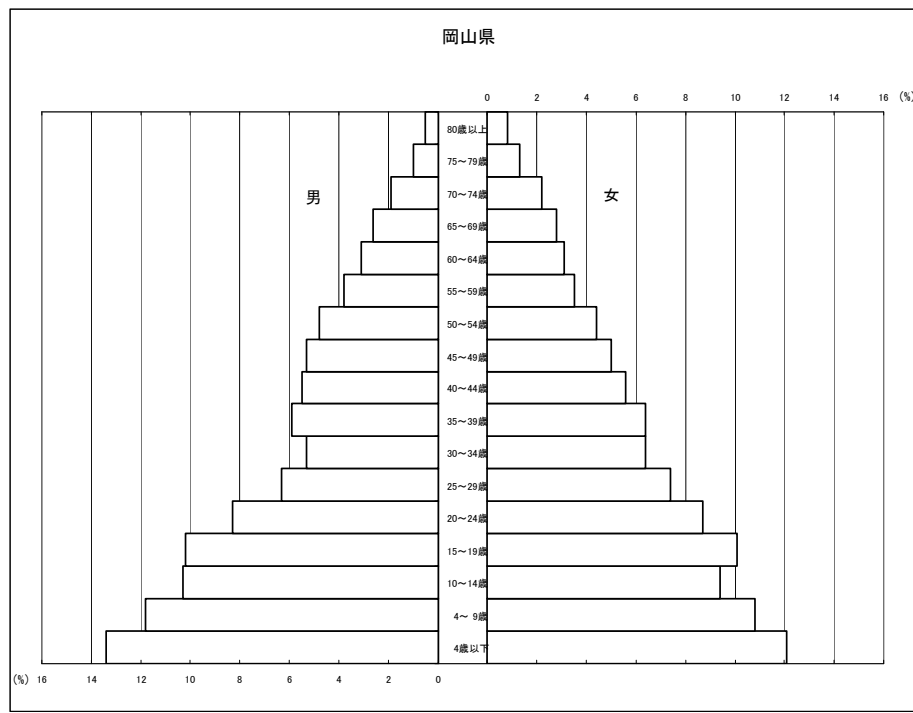
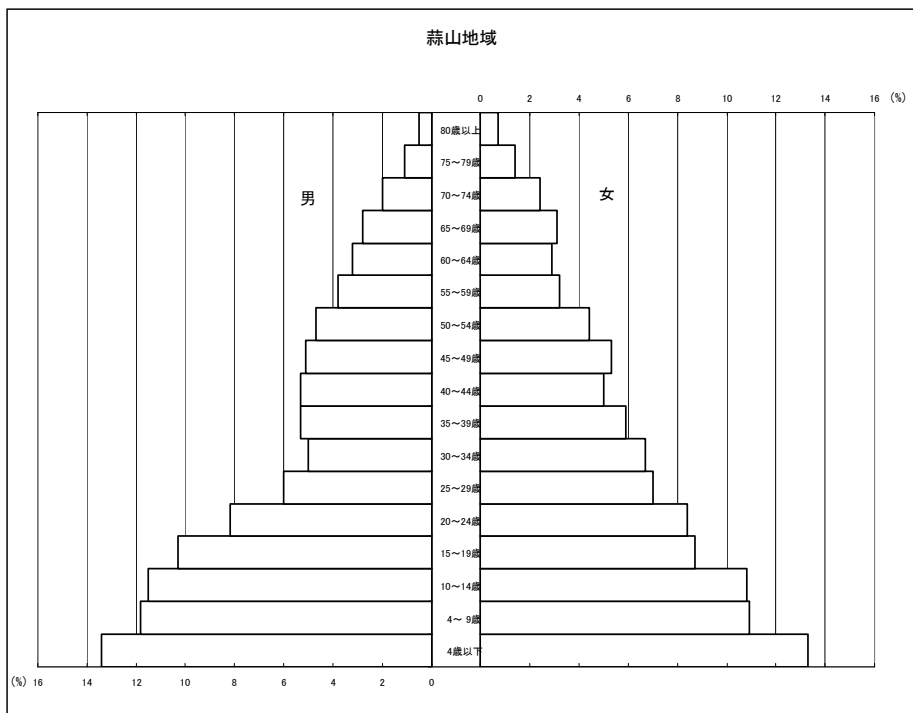


図4 蒜山地域と岡山県の人口ピラミッド（昭和25年）

表 3 4 年 齢（5 歳階級）別人口の割合

(単位:%)

年齢階級	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
年齢全階級	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0~4歳	12.5	13.3	13.5	14.9	13.5	13.5	13.0	12.7
5~9	10.8	11.6	10.7	10.6	11.0	11.0	11.4	11.3
10~14	10.9	11.4	10.2	11.1	10.8	10.9	11.3	9.9
15~19	9.8	9.3	8.4	9.9	9.0	9.3	9.8	10.1
20~24	8.7	8.3	9.4	8.2	8.0	8.4	8.3	8.5
25~29	6.7	6.4	7.7	5.8	6.6	6.6	6.5	6.8
30~34	6.3	5.7	6.7	5.9	5.5	5.9	5.6	5.9
35~39	5.5	5.6	5.3	6.0	5.7	5.6	5.7	6.1
40~44	4.7	5.4	5.0	4.4	5.3	5.0	5.3	5.6
45~49	5.4	5.1	5.6	5.2	5.5	5.3	5.1	5.2
50~54	4.8	4.6	5.2	4.3	5.1	4.8	4.4	4.6
55~59	3.6	3.8	3.1	3.3	3.6	3.6	3.6	3.6
60~64	3.1	3.0	2.4	3.3	2.9	3.0	3.2	3.1
65~69	2.9	2.8	2.8	2.7	3.0	2.9	2.8	2.7
70~74	2.1	1.9	2.4	2.6	2.4	2.3	2.2	2.1
75~79	1.7	1.2	1.0	1.1	1.3	1.3	1.2	1.2
80歳以上	0.5	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6

資料：表 3 2 に同じ。

注：真庭郡と岡山県の総数には年齢「不詳」を含み、5 か町村には該当なし。

表 3 5 年齢別人口の割合と年齢構成指数

町 村		年齢(3区分)別割合(%)			年齢構成指数			
		0~14歳	15~64	65歳以上	年少人口	老年人口	従属人口	老年化
蒜 山 地 域	川上村	34.2	58.6	7.2	58.5	12.3	70.8	21.1
	八束村	36.2	57.2	6.6	63.3	11.4	74.7	18.1
	中和村	34.4	58.7	6.9	58.6	11.7	70.3	19.9
	旧二川村	36.5	56.4	7.1	64.7	12.5	77.2	19.3
	旧湯原町	35.5	57.2	7.3	61.9	12.8	74.7	20.7
		35.5	57.5	7.0	61.6	12.2	73.8	19.8
真庭郡		35.7	57.4	6.9	62.1	11.9	74.0	19.2
岡山県		33.8	59.6	6.6	56.8	11.0	67.8	19.4

資料：表 3 2 に同じ。

- 注：（１）年少人口指数は生産年齢人口に対する年少人口の比率。  
（２）老年人口指数は生産年齢人口に対する老年人口の比率。  
（３）従属人口指数は年少人口指数と老年人口指数の和。  
（４）老人化指数は年少人口に対する老人人口の比率。

表 3 6 世帯数と世帯人員

(単位：世帯、人)

世帯と人員			蒜 山 地 域					真庭郡	岡山県	
			川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
総 数	総世帯数		762	924	354	467	1, 053	3, 560	(24. 2)	(1. 03)
	総世帯人員		3, 737	4, 492	1, 708	2, 375	5, 142	17, 454	(23. 2)	(1. 05)
一 般 世 帯	世帯数		760	923	353	465	1, 053	3, 554	(24. 3)	(1. 04)
	世帯人員		3, 733	4, 481	1, 698	2, 371	5, 142	17, 425	(23. 4)	(1. 07)
		総数	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0	100. 0
	世 帯 人 員 別 割 合 ( %)	1	7. 8	8. 5	9. 7	9. 0	6. 7	8. 0	5. 8	6. 0
		2	9. 9	10. 2	7. 9	8. 2	11. 0	9. 9	9. 0	10. 6
		3	13. 2	13. 2	13. 1	9. 5	12. 8	12. 6	12. 1	14. 7
		4	14. 2	13. 4	16. 4	12. 9	15. 2	14. 3	14. 8	16. 2
		5	16. 0	15. 6	13. 6	17. 2	13. 6	15. 1	16. 1	16. 1
		6	12. 2	14. 5	14. 7	14. 4	16. 2	14. 5	14. 7	14. 0
		7	11. 4	10. 7	11. 6	12. 7	11. 3	11. 4	11. 8	10. 3
		8	8. 6	6. 3	7. 7	7. 3	6. 7	7. 2	7. 7	6. 3
		9	3. 6	5. 1	2. 8	5. 4	4. 3	4. 3	4. 8	3. 4
		10	2. 2	0. 7	1. 7	1. 9	1. 0	1. 4	2. 0	1. 5
	11以上	0. 9	1. 8	0. 8	1. 5	1. 2	1. 3	1. 2	0. 9	
1世帯当たり人員		4. 91	4. 85	4. 81	5. 10	4. 88	4. 90	4. 90	4. 79	
準 世帯	世帯数	2	1	1	0	0	4	(8. 3)	(0. 20)	
	世帯人員	4	11	10	0	0	25	(4. 9)	(0. 08)	

資料：表 3 2 に同じ。

注：括弧内は蒜山地域における世帯数と世帯人員の対真庭郡比および対岡山県比。

表 3 7 世帯主の就業形態からみた一般世帯の産業別割合

項 目	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
(1) 世帯主の労働力状態からみた一般世帯の内訳								
一般世帯総数	760	923	353	465	1,053	3,554	(24.3)	(1.04)
労働力保有世帯数(A)	721	863	344	440	966	3,334	(24.7)	(1.09)
就業世帯数(B)	715	854	343	439	961	3,312	(24.9)	(1.10)
失業世帯数	6	9	1	1	5	22	(12.9)	(0.34)
非労働力保有世帯数	39	60	9	25	87	220	(19.2)	(0.62)
就業率(B/A×100)	99.2	99.0	99.7	99.8	99.5	99.3	98.7	97.9
(2) 世帯主の就業形態からみた一般世帯の産業別割合(%)								
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第1次産業	80.3	73.5	80.7	82.2	64.3	74.2	64.2	48.7
農業	72.5	69.5	67.9	61.0	51.6	63.7	58.3	45.3
林業・狩猟業	7.8	4.0	12.8	21.0	12.4	10.4	5.6	1.7
漁業・水産養殖業	0	0	0	0.2	0.3	0.1	0.3	1.7
第2次産業	7.8	9.3	5.0	6.4	14.4	9.6	13.4	21.9
鉱業	0	0.1	0	0	0	0.0	0.3	1.0
建設業	3.8	5.0	2.9	2.5	6.7	4.7	4.4	5.0
製造業	4.0	4.1	2.1	3.9	7.7	4.9	8.7	15.9
第3次産業	11.9	17.2	14.3	11.4	21.3	16.2	22.4	29.4
卸売・小売業	4.6	6.4	3.5	2.3	6.1	5.1	8.6	11.8
金融・保険・不動産業	0.1	0.1	0	0.2	0.3	0.1	0.3	0.8
運輸通信・その他公益事業	1.8	2.6	0.9	1.8	3.0	2.3	3.9	5.2
サービス業	3.7	5.4	5.2	4.1	8.9	5.9	6.8	8.2
公 務	1.7	2.7	4.7	3.0	3.0	2.8	2.8	3.4

資料：表 3 2 に同じ。

注：(1) 括弧内は蒜山地域の労働力保有世帯数の対真庭郡比および対岡山県比。

(2) 真庭郡と岡山県の世帯総数には「分類不能の産業」を含み、5 か町村は該当なし。

表 3 8 1 4 歳以上人口の労働力状態

(単位:人)

男女別労働力状態		蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
		川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
総数	14歳以上人口	2, 547	2, 979	1, 147	1, 550	3, 423	11, 646	(23. 3)	(1. 02)
	労働力人口	2, 157	2, 407	1, 022	1, 333	2, 732	9, 651	(25. 6)	(1. 26)
	就業者	2, 150	2, 396	1, 020	1, 331	2, 723	9, 620	(25. 7)	(1. 28)
	完全失業者	7	11	2	2	9	31	( 9. 6)	(0. 23)
	非労働人口	390	572	123	217	691	1, 993	(16. 1)	(0. 53)
	労働力率 (%)	84. 7	80. 8	89. 1	86. 0	79. 8	82. 9	75. 3	67. 1
	就業者率 (%)	84. 4	80. 4	88. 9	85. 9	79. 6	82. 6	74. 7	65. 9
男子	14歳以上人口	1, 281	1, 453	580	768	1, 634	5, 718	(23. 6)	(1. 07)
	労働力人口	1, 151	1, 304	537	703	1, 466	5, 161	(24. 6)	(1. 15)
	就業者	1, 144	1, 297	536	703	1, 459	5, 139	(24. 7)	(1. 17)
	完全失業者	7	7	1	0	7	22	(11. 0)	(0. 22)
	非労働人口	130	149	44	65	168	556	(17. 0)	(0. 61)
	労働力率 (%)	89. 9	89. 7	92. 2	91. 5	89. 7	90. 3	86. 5	83. 3
	就業者率 (%)	89. 3	89. 3	92. 1	91. 5	89. 3	89. 9	85. 7	81. 4
女子	14歳以上人口	1, 266	1, 526	565	782	1, 789	5, 928	(23. 0)	(0. 99)
	労働力人口	1, 006	1, 103	485	630	1, 266	4, 490	(26. 9)	(1. 43)
	就業者	1, 006	1, 099	484	628	1, 264	4, 481	(27. 0)	(1. 44)
	完全失業者	0	4	1	2	2	9	( 7. 3)	(0. 24)
	非労働人口	260	423	79	152	523	1, 437	(15. 8)	(0. 50)
	労働力率 (%)	79. 5	72. 3	85. 8	80. 6	70. 8	75. 7	64. 8	52. 5
	就業者率 (%)	79. 5	72. 0	85. 7	80. 3	70. 8	75. 6	64. 3	51. 9

資料：表 3 2 に同じ。

注：（１）真庭郡と岡山県の 1 4 歳以上人口には労働力状態「不詳」を含み、5 か町村には該当なし。

（２）労働力率とは 1 4 歳以上人口に占める労働力人口の割合。

（３）就業者率とは 1 4 歳以上人口に占める就業者の割合。

（４）括弧内は蒜山地域労働力人口の対真庭郡比および対岡山県比。

表 3 9 1 4 歳以上就業者の産業別構成

(単位：%)

産 業	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
就業者総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第1次産業	87.8	82.1	88.0	89.0	74.7	82.8	73.5	56.0
農業	82.7	78.8	80.2	74.0	63.8	74.9	68.9	53.4
林業・狩猟業	5.0	3.3	2.8	15.0	10.8	7.9	4.5	1.4
漁業・水産養殖業	0.0	0.0	－	0.0	0.1	0.0	0.1	1.2
第2次産業	4.6	6.6	3.1	3.4	10.0	6.3	10.2	20.1
鉱業	－	0.1	－	－	－	0.0	0.2	0.6
建設業	2.2	3.9	2.3	1.3	4.9	3.3	3.1	3.6
製造業	2.4	2.6	0.8	2.1	5.1	3.0	6.9	15.9
第3次産業	7.6	11.3	8.9	7.6	15.3	10.9	16.3	23.9
卸売・小売業	2.8	4.2	3.0	2.4	5.1	3.8	6.3	9.4
金融・保険・不動産業	0.0	0.1	0.2	0.0	0.3	0.2	0.2	0.6
運輸通信・その他公益事業	1.1	1.3	0.5	0.8	1.6	1.2	2.6	4.2
サービス業	2.8	4.4	2.9	2.9	6.7	4.3	5.4	7.1
公 務	0.9	1.3	2.3	1.4	1.6	1.4	1.8	2.6

資料：表 3 2 に同じ。

注：就業者総数に「分類不能の産業」を含む。

表 4 0 就業者の職業別構成

(単位：%)

職 業	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
就業者総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
農林漁業関係職業	87.0	81.2	86.4	87.8	74.1	82.0	73.0	55.4
生産・運輸関係職業	5.6	8.4	4.8	4.4	12.0	7.9	12.4	22.4
販売・サービス関係職業	2.8	4.5	2.4	2.3	6.5	4.1	6.7	10.1
事務・技術・管理関係職業	4.6	5.9	6.4	5.5	7.4	6.0	7.9	12.1

資料：表 3 2 に同じ。

注：（１）職業別割合は国勢調査の職業大分類（A～J）を以下のように組み替えた数字である<sup>59)</sup>。

農林漁業関係職業はE（農林漁業作業員）。生産・運輸関係職業はF（採掘作業員）、G（運輸・通信従事者）、H（技能工、生産工程作業員及び労務作業員）。販売・サービス関係職業はD（販売従事者）、I（保安職業従事者）、J（サービス職業従事者）。事務・技術・管理関係職業はA（専門的・技術的職業従事者）、B（管理的職業従事者）、C（事務従事者）。

（２）就業者総数には「分類不能の職業」を含む。

表 4 1 商業の業種と従業員

(単位：商店、人)

業 種	川上村		八束村		中和村		旧二川村		旧湯原町	
	商店数	従業者数	商店数	従業者数	商店数	従業者数	商店数	従業員数	商店数	従業員数
総 数	25	45	62	112	16	21	15	29	63	122
呉服衣服及び身廻品小売業	－	－	8	17	－	－	3	7	10	18
飲食料品小売業	16	27	30	57	12	17	10	(22)	38	72
飲食店	1	(3)	5	9	－	－	－	－	4	(9)
路上運搬機小売業	1	(3)	3	6	－	－	1	(22)	2	(9)
その他小売業	7	15	16	23	4	4	1	(22)	14	23

資料：昭和 2 8 年岡山県市町村勢要覧より作成。昭和 2 7 年 9 月現在。

注：括弧内は該当する複数小売業の従業員を合わせた数。

表 4 2 工業の業種と従業員

(単位:事業所、人)

業 種	川上村		八束村		中和村		旧二川村		旧湯原町	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数
総 数	6	29	10	117	2	X	6	15	45	131
食品製造業	—	—	4	X	—	—	—	—	6	(15)
紡織業	—	—	—	—	—	—	—	—	1	(15)
木材・木製品製造業	4	X	5	14	2	X	6	15	29	90
家具・建具製造業	—	—	—	—	—	—	—	—	2	(13)
紙及び類似品製造業	—	—	—	—	—	—	—	—	1	(13)
ガラスおよび土石製品製造業	2	X	1	X	—	—	—	—	—	0
金属製品製造業	—	—	—	—	—	—	—	—	6	13

資料: 表 4 1 に同じ。

注: (1) Xは秘匿のため未公開。

(2) 括弧内は該当する複数製造業の従業員を合わせた数。

表 4 3 歳入・歳出決算額とその費目構成

費 目		蒜 山 地 域						真庭郡	県下 全町村
		川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
歳入総額(万円)		2, 159	1, 652	2, 098	2, 038	5, 941	2, 778	2, 615	1, 960
費 目 構 成 (%)	自主財源	60. 2	54. 5	75. 0	68. 5	76. 1	69. 8	69. 0	58. 3
	税収入	15. 9	28. 2	9. 5	9. 6	19. 4	17. 0	26. 4	32. 4
	その他	44. 3	26. 3	65. 5	58. 9	56. 7	52. 8	42. 6	25. 9
	依存財源	39. 8	45. 5	25. 0	31. 5	23. 9	30. 2	31. 0	41. 7
	平衡交付金	20. 9	25. 0	12. 9	20. 7	5. 1	13. 4	13. 0	17. 0
	国県支出金	18. 9	20. 5	10. 7	10. 8	12. 4	13. 9	15. 3	18. 2
	地方債	－	－	1. 4	－	6. 4	2. 9	2. 7	6. 5
自主財源率 (%)		60. 2	54. 5	74. 9	68. 4	76. 1	69. 8	69. 0	58. 3
一般財源率 (%)		36. 7	53. 2	22. 4	30. 3	24. 5	30. 4	39. 3	49. 3
歳出総額(万円)		2, 146	1, 618	2, 096	1, 991	5, 913	2, 753	2, 592	1, 918
費 目 構 成 (%)	消費的経費	53. 6	78. 7	48. 9	59. 6	61. 9	60. 3	61. 2	60. 8
	人件費	13. 7	16. 4	11. 4	19. 6	9. 8	12. 9	17. 5	20. 9
	物件費	22. 3	44. 2	26. 4	19. 2	19. 2	23. 7	24. 6	22. 5
	その他	17. 6	18. 1	11. 1	20. 8	32. 9	23. 7	19. 1	17. 4
	投資的経費	45. 6	21. 3	10. 5	29. 8	35. 0	30. 5	34. 4	35. 7
	普通建設費	38. 4	16. 0	6. 4	26. 4	34. 8	27. 6	27. 5	26. 2
	災害復旧費	7. 2	5. 3	4. 1	3. 4	0. 2	2. 9	6. 8	9. 0
	失業対策費	－	－	－	－	－	－	0. 1	0. 5
	その他	0. 8	－	40. 6	10. 6	3. 1	9. 2	4. 4	3. 5
投資的経費率 (%)		45. 6	21. 3	10. 5	29. 8	34. 9	30. 5	34. 4	35. 7
財政力指数		0. 367	0. 469	0. 343	0. 261	0. 668	0. 449	0. 471	0. 491

資料：昭和 2 8 年度岡山県市町村財政概要より作成。

注：（１）蒜山地域、真庭郡、岡山県全町村の歳入、歳出総額は 1 町村当たり。

（２）自主財源率および一般財源率はそれぞれ歳入総額に占める自主財源額（税収入＋その他）および一般財源額（税収入＋平衡交付金）の割合。

（３）投資的経費率は歳出総額に占める投資的経費の占める割合。

（４）財政力指数は基準財政収入額÷基準財政需要額。

表 4 4 固定資産平均価額

(単位:円/10a)

地 目	蒜 山 地 域						真庭郡	県下 全町村
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
田	21,289	23,697	19,911	19,442	24,858	21,839	25,631	30,410
畑	5,423	6,502	9,220	9,472	13,287	8,772	12,664	14,152
山林	405	421	395	411	583	443	875	1,399
原野	256	259	266	269	460	302	650	974

資料：表 4 3 に同じ。

注：昭和 2 9 年 2 月末現在。

表 4 5 林野の概況

項 目	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
林野総面積 (ha)	5,291	4,381	4,283	5,978	6,901	26,834	(39.3)	(5.4)
森林	4,761	4,081	3,714	5,769	6,619	24,944	(39.2)	(5.3)
樹林地	4,050	2,853	3,663	5,728	6,518	22,812	(39.9)	(5.2)
竹林	3	8	1	8	59	79	(18.2)	(1.6)
特殊樹林 <sup>1)</sup>	—	—	2	6	—	8	(20.0)	(1.6)
人工林の伐採跡地 <sup>2)</sup>	48	7	6	24	—	85	(42.1)	(6.5)
未立木地 <sup>3)</sup>	658	1,212	40	1	41	1,952	(33.1)	(10.2)
採草・放牧利用・	570	1,150	—	—	—	1,720	(43.3)	(11.1)
その他	88	62	40	1	41	232	...	...
原野 <sup>4)</sup>	530	300	569	209	282	1,890	(41.6)	(7.8)
採草・放牧利用	258	100	531	209	216	1,314	(33.1)	(5.7)
その他	272	200	38	—	66	576	...	...
森林の保有形態別割合 (%)								
国有 <sup>5)</sup>	34.4	12.6	19.7	14.4	10.3	17.6	10.2	7.8
公有 <sup>6)</sup>	31.6	64.6	41.3	30.4	31.3	38.1	29.8	14.3
私有 <sup>7)</sup>	34.0	22.8	39.0	55.2	58.4	44.3	60.0	77.9
森林率 <sup>8)</sup>	90.0	93.2	86.7	96.5	95.9	93.0	93.3	95.1
人工林率 <sup>9)</sup>								
全森林	29	21	23	26	41	29	35	39
国有林	52	81	64	100	87	...	...	...
公有林	17	12	18	19	36	...	...	...
私有林	15	16	75	10	35	...	...	...
針葉樹林率 <sup>10)</sup>	32.6	26.2	26.8	28.1	35.4	30.4	35.1	50.0
天然林の針葉樹林率 <sup>11)</sup>	7.2	9.8	5.4	3.6	2.1	5.0	7.1	42.9

資料：1960年世界農林業センサス（林業地域調査）より作成。

注：1）うるし・あべまきなど。

2）天然林の伐採跡地は樹林地へ含めてある。

3）草生地（樹木が生育していても樹冠の粗密度0.3未満のものはこれに含む）のうち森林計画によって将来造林することが妥当であるとし、森林として取り扱われている土地。

4）草生地のうち未立木地以外のもの。

5）林野庁所管国有林及び他の官庁が所管するもの。

6）都道府県、森林整備法人（林業・造林公社）、市町村及び財産区が所管しているもの。

7）個人、会社、社寺、共同（共有）、各種団体・組合などの所管しているもの。

8）林野面積に占める森林面積の割合（％）。

9）森林面積に占める人工林面積の割合（％）。

10）森林面積に占める針葉樹林面積の割合（％）。

11）天然林面積に占める針葉樹林面積の割合（％）。

12）真庭郡と岡山県の括弧内は蒜山地域の林野面積の対真庭郡比と対岡山県比。

13）記号・・・は調査を欠く。

表 4 6 経営土地面積

(単位:10a、%)

経営農用地	蒜 山 地 域						対真庭郡 比 ㉗)	対岡山県 比 ㉗)
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
経営土地総面積 ㉖) (A)	12,952	10,485	9,349	9,247	19,283	61,316	26.6	2.4
経営農用地総面積	6,581	7,530	7,247	4,532	8,545	34,435	31.0	2.3
経営耕地総面積 (B)	6,083	6,187	2,786	3,242	5,562	23,860	33.6	2.2
田 (C)	3,997	4,152	2,233	2,302	4,258	16,942	33.2	2.1
1毛作田	3,828	4,035	2,201	2,202	3,844	16,110	42.5	4.6
2毛作田 (D)	150	104	—	97	410	761	5.9	0.2
その他 ㉘)	18	12	32	3	3	68	20.5	0.8
樹園地	7	63	7	66	141	284	13.4	0.9
果樹園	3	13	0	—	4	20	23.3	0.1
茶園	—	17	0	1	—	18	32.1	1.4
桑園	4	31	5	63	83	186	21.4	1.8
その他 ㉙)	—	—	1	2	54	57	5.2	1.6
畑 (E)	2,078	1,972	545	872	1,162	6,629	37.1	2.8
普通畑	1,987	1,953	542	848	1,144	6,474	37.3	2.8
牧草畑	—	0	0	—	—	0	0	0
その他 ㉚)	91	18	2	24	18	153	29.0	4.3
その他農用地 (F)	192	911	4,344	1,092	2,681	9,220	26.2	2.8
採草地	192	874	4,319	1,087	2,405	8,877	28.1	4.1
放牧地	—	—	25	5	53	83	3.6	0.6
放牧する山林	—	37	—	—	223	260	17.5	0.4
その他	306	432	117	194	231	1,282	27.4	1.7
保有山林面積 ㉛) (G)	6,371	2,954	2,102	4,716	10,738	26,881	22.5	2.4
民有・公有牧野面積 ㉜) (H)	22,840	17,722	8,442	4,099	9,265	62,368	45.3	12.5
採草地	19,576	16,599	5,403	3,845	7,423	52,846	55.0	16.3
放牧地	2,799	650	2,786	—	1,422	7,657	21.6	5.6
堤塘・河川敷	40	40	58	28	31	197	26.5	1.8
畦畔	425	433	195	226	389	1,668	31.7	5.6
経営農用地率 (B/A)	50.8	71.8	77.5	49.0	44.3	56.2	48.2	56.9
保有山林率 (G/A)	49.2	28.2	22.5	51.0	55.7	43.8	51.8	43.1
耕地率 (B/A)	46.5	59.0	29.8	35.1	28.8	38.9	30.8	42.3
水田率 (C/B)	65.7	67.1	80.2	71.0	76.6	71.0	71.9	75.2
2毛作田率 (D/C)	3.7	2.5	—	4.2	9.6	4.5	25.2	56.2
畑地率 (E/B)	34.2	31.9	19.6	26.9	20.9	27.8	25.2	21.8
その他農用地(牧野)率 (F/A)	1.5	8.7	46.5	11.8	13.9	15.0	15.3	11.6
民有・公有牧野率 (H/A)	176.3	169.0	90.3	44.3	48.0	101.7	59.6	19.4

資料：1950年世界農業センサスおよび岡山県農業図説（1954年）より作成。

注：1）農用地（田、樹園地、普通畑、牧草畑、焼畑、切替畑、宅地、採草地、放牧地、放牧する山林、荒地、水路、溜池、永久的農道）と山林の合計面積。

2）夏作に畑作物を作った田、わさび・はす・セリなどを作付けした田、過去1年間作付けしなかった田などを含む。

3）こうぞ・みつまた・その他の樹園地。

4）焼畑、切替畑、耕作放棄畑を含む。

5）農家林家および非農家林家が単独で経営する山林。

6）昭和24年、岡山県畜産課による民有地および公有地における牧野利用実態調査結果（岡山県農業図説に登載）。

7）蒜山地域経営土地面積の真庭郡および岡山県の同土地面積に占める比率。ただし、最下段に列記した経営農用地率、山林率、耕地率、その他の比率は真庭郡および岡山県の実数である。

表 4 7 水田の乾湿状態

(単位: %, ha)

乾湿状態	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
乾田率	4. 4	21. 5	2. 4	30. 9	62. 6	25. 8	32. 4	56. 0
半湿田率	73. 9	53. 3	22. 4	26. 6	28. 9	43. 1	31. 9	22. 0
湿田率	21. 7	25. 2	75. 2	42. 5	8. 5	31. 1	35. 7	22. 0
水田面積	369	395	205	230	369	1, 568	(32. 6)	(1. 9)

資料：岡山県農業図説（1954年）より作成。

注：（１）調査年次は昭和 2 5 年。

（２）真庭郡と岡山県の水田面積の括弧内は蒜山地域水田面積の対真庭郡比および対岡山県比。

表 4 8 農家の専業・兼業別割合

町 村		14歳以上 農業就業人口 (人)	農家数 (戸)	専業・兼業別農家割合 (%)			農家率 (%)
				専業	第1種兼業	第2種兼業	
蒜 山 地 域	川上村	1,775	615	62.5	19.8	17.7	80.7
	八束村	1,887	715	61.4	23.1	15.5	77.4
	中和村	818	295	28.5	57.3	14.2	83.3
	旧二川村	985	354	60.2	20.6	19.2	76.1
	旧湯原町	1,736	716	49.0	41.2	9.8	68.0
		7,201	2,695	54.6	30.6	14.8	75.8
真庭郡		(27.9)	(27.8)	51.7	33.1	15.2	66.2
岡山県		( 1.8)	( 1.5)	48.8	32.2	19.0	52.0

資料：1 4 歳以上農業就業人口は昭和25年国勢調査報告、  
農家数などは1950年世界農業センサスより作成。

注：(1) 農家率は全世帯数に対する農家数の比率。

(2) 真庭郡と岡山県の括弧内は蒜山地域の農業就業人口  
と農家数の対真庭郡比および対岡山県比。

表 4 9 経営耕地面積規模別農家構成

(単位:%)

町 村		経営耕地面積規模 (ha)							
		0.3 未満	0.3 ~0.5	0.5 ~1.0	1.0 ~1.5	1.5 ~2.0	2.0 ~3.0	3.0 ~5.0	例外規定
蒜 山 地 域	川上村	13.3	14.2	27.8	20.3	18.2	5.9	0.3	—
	八束村	18.1	13.3	31.0	21.4	13.0	3.2	—	—
	中和村	12.5	12.5	29.9	30.2	14.9	—	—	—
	二川村	13.6	12.4	31.9	27.7	13.0	1.4	—	—
	湯原町	16.9	14.0	37.1	24.3	6.3	1.4	—	—
		15.5	13.5	31.9	23.7	12.6	2.7	0.1	—
真庭郡		17.7	16.1	42.2	18.0	4.9	1.0	0.0	0.1
岡山県		24.7	20.2	38.3	13.7	2.6	0.4	0.0	0.1

資料：1950年世界農業センサスより作成。

表 5 0 農家 1 戸当たり経営耕地面積

町 村		1戸当たり 田・畑面積 (a)	田・畑面積割合 (%)	
			田	畑
蒜 山 地 域	川上村	98.8	65.8	34.2
	八束村	85.6	67.8	32.2
	中和村	94.2	80.4	19.6
	旧二川村	89.7	72.5	27.5
	旧湯原町	75.7	78.6	21.4
		87.5	71.9	28.1
真庭郡		71.2	74.1	25.9
岡山県		59.9	77.5	22.5

資料：表 4 9 に同じ。

注：田・畑面積割合は経営耕地面積に  
占めるそれぞれの面積割合。

表 5 1 農作物の種類別収穫農家率

(単位：%)

農作物	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
水稻	90.2	79.2	96.6	94.9	94.6	89.9	94.0	92.6
陸稲	38.2	32.9	6.8	24.8	1.3	21.8	8.1	2.4
小麦	12.7	10.5	4.4	25.7	26.2	16.5	55.5	83.2
大麦	6.5	7.7	—	28.5	61.6	19.0	63.8	24.3
裸麦	1.0	—	0.7	1.4	25.7	7.3	28.2	74.5
ライ麦	3.1	6.4	—	—	0.1	2.4	0.7	0.1
甘藷	93.7	93.3	93.6	94.9	84.5	91.3	90.1	83.3
馬鈴薯	93.0	91.3	93.2	93.5	85.2	90.6	96.5	86.6
大豆	86.7	93.2	71.5	92.4	83.1	86.6	94.7	74.5
小豆	67.0	80.1	74.9	83.3	69.1	74.1	72.0	45.5
菜種	8.1	9.7	1.4	17.5	16.1	11.1	39.6	43.8
煙草	55.9	51.2	55.2	38.1	24.2	43.8	29.7	12.6
レンゲ <sup>※</sup> (緑肥)	12.0	8.3	3.7	9.0	12.6	9.4	8.0	5.6
レンゲ <sup>※</sup> (飼料)	22.0	8.4	19.7	32.4	40.5	24.4	23.6	16.0
農家数(戸)	615	715	295	345	716	2,695	9,688	1,771

資料：表 4 9 に同じ。

注：(1) 収穫農家率は全農家数に占める各農作物の収穫農家数の割合。

(2) 岡山県の農家数の単位は 1 0 0 戸。

表 5 2 家畜別飼養農家率

(単位：%)

家畜	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
乳牛	－	1.0	－	－	－	0.2	1.1	1.1
役肉用牛	54.5	57.9	71.5	64.2	71.4	63.0	64.7	52.1
馬	29.9	18.9	9.1	13.0	1.4	14.9	7.8	2.6
羊	0.5	1.8	1.0	1.1	0.6	1.0	0.8	0.4
山羊	2.3	6.3	2.4	5.4	7.4	5.1	5.2	4.6
豚	1.8	1.4	0.3	0.3	0.3	0.9	1.3	1.4
鶏	41.0	44.8	53.2	55.6	62.3	50.9	62.7	68.9

資料：表 4 9 に同じ。

注：飼養農家率は全農家数に占める各家畜飼養農家数の割合。

表 5 3 農作物の1戸当たり収穫面積

(単位:a)

農作物	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
水稲	66.4	68.4	71.1	62.0	55.5	63.8	51.9	47.9
陸稲	5.8	7.3	13.0	3.8	2.2	6.3	5.6	5.5
小麦	4.4	3.5	0.7	3.2	2.8	3.2	5.0	17.4
大麦	2.9	2.9	—	4.3	6.3	5.4	16.1	15.8
裸麦	5.0	—	0.0	4.0	4.6	4.5	8.4	16.0
ライ麦	4.7	4.1	—	—	0.0	0.0	3.9	3.2
甘藷	5.6	4.3	3.5	3.5	2.7	4.0	3.4	4.3
馬鈴薯	1.4	1.8	1.9	1.6	1.5	1.6	1.5	1.6
大豆	7.8	6.2	4.6	5.4	5.6	6.2	5.4	3.2
小豆	2.5	2.3	2.5	2.0	2.4	2.4	1.8	1.4
菜種	1.2	1.6	0.0	2.6	0.6	1.3	1.2	1.4
煙草	18.9	12.7	9.5	12.2	7.7	13.3	8.1	8.1
レンゲ <sup>○</sup> (緑肥)	7.6	10.6	5.5	6.6	8.8	8.3	6.4	5.7
レンゲ <sup>○</sup> (飼料)	5.3	6.7	5.2	6.4	8.1	6.8	9.0	8.6

資料：表 4 9 に同じ。

表 5 4 耕種部門における作目構成とその特化係数

項 目	農作物	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
		川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
作 目 構 成 割 合 (%)	稲	65.8	66.7	77.4	69.5	66.0	67.9	57.0	47.1
	麦類	1.0	1.0	0.0	2.4	7.2	2.6	17.8	32.0
	雑穀	0.9	0.8	0.5	1.1	0.7	0.8	1.0	1.4
	いも類	6.9	6.7	5.7	5.6	4.4	5.9	4.8	5.2
	まめ類	9.0	9.3	5.9	8.0	8.4	8.4	7.6	4.4
	工業農作物	11.4	8.0	5.9	5.9	3.8	7.3	5.2	2.8
	野菜	2.6	5.1	3.2	4.0	3.6	3.8	3.4	4.3
	種苗・苗木類	0.0	－	－	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0
	飼肥料作物	2.4	2.3	1.4	3.3	5.7	3.2	3.2	1.8
	果樹	0.0	0.1	－	－	－	0.0	0.0	1.0
収穫総面積(10a)		5,816	6,066	2,651	3,044	5,698	23,275	(27.8)	(1.4)
特 化 係 数	稲	1.39	1.41	1.64	1.47	1.40	1.44	1.21	1.00
	水稲	1.35	1.36	1.63	1.46	1.40	1.41	1.20	1.00
	陸稲	18.5	21.5	7.69	8.46	0.23	12.2	4.00	1.00
	麦類	0.03	0.03	0.00	0.07	0.22	0.08	0.55	1.00
	雑穀	0.64	0.57	0.35	0.78	0.50	0.57	0.71	1.00
	いも類	1.32	1.28	1.09	1.07	0.84	1.13	0.92	1.00
	甘藷	1.45	1.26	0.97	1.00	0.73	1.10	0.84	1.00
	馬鈴薯	1.00	1.36	1.43	1.28	1.14	1.21	1.14	1.00
	まめ類	2.04	2.11	1.34	1.81	1.90	1.91	1.72	1.00
	大豆	2.84	2.72	1.48	2.28	2.36	2.48	2.24	1.00
	小豆	2.42	3.14	3.00	2.85	3.00	2.85	2.14	1.00
	工業農作物	4.07	2.85	2.10	2.10	1.35	2.60	1.85	1.00
	菜種	0.16	0.28	－	0.79	0.19	0.27	0.87	1.00
	粟μ	16.5	7.2	5.42	5.04	2.24	6.26	2.61	1.00
	麻	2.50	2.75	－	0.75	－	1.50	1.00	1.00
	ミツマタ	－	－	－	－	8.18	2.09	11.8	1.00
	苧蓆	－	－	－	－	11.7	3.00	8.66	1.00
	野菜	0.60	1.18	0.74	0.93	0.83	0.88	0.79	1.00
	種苗・苗木類	3.33	－	－	17.8	18.9	7.77	6.66	1.00
	飼肥料作物	1.33	1.27	0.77	1.83	3.16	1.77	1.77	1.00
	果樹	0.01	0.16	－	－	－	0.04	0.05	1.00

資料：表 4 9 に同じ。

注：（１）収穫総面積の真庭郡と岡山県の括弧内は蒜山地域における収穫総面積の真庭及び岡山県における同面積に対する比率。

（２）作目構成割合は収穫総面積に占める各作目収穫面積の割合。

（３）特化係数とは特定作目構成割合の岡山県における当該作目構成割合に対する比率。

表 5 5 家 畜 の 飼 養 頭 数

( 単 位 : 頭 )

項 目		蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
		川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
乳用牛	飼養頭数	－	12	－	－	－	12	(8.8)	(0.4)
	1戸当たり頭数	－	1.7	－	－	－	1.7	1.3	1.5
役肉用牛	飼養頭数	486	599	342	416	910	2,753	(31.9)	(2.5)
	1戸当たり頭数	1.5	1.4	1.6	1.8	1.8	1.6	1.4	1.2
馬	飼養頭数	196	148	30	52	12	438	(54.2)	(9.3)
	1戸当たり頭数	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.0
羊	飼養頭数	5	14	4	4	5	32	(34.8)	(3.3)
	1戸当たり頭数	1.7	1.1	1.3	1.0	1.3	1.2	1.1	1.3
山羊	飼養頭数	23	62	12	21	55	173	(29.8)	(1.9)
	1戸当たり頭数	1.6	1.4	1.7	1.1	1.0	1.3	1.1	1.1
豚	飼養頭数	20	16	1	1	4	42	(17.6)	(0.9)
	1戸当たり頭数	1.8	1.6	1.0	1.0	2.0	1.7	1.9	1.8
鶏	飼養羽数	677	900	403	518	1,180	3,678	(17.3)	(0.7)
	1戸当たり羽数	2.7	2.8	2.6	2.6	2.6	2.7	3.5	4.4
1戸当たり 頭羽数の 特化係数	乳用牛	－	1.13	－	－	－	1.13	0.87	1.00
	役肉用牛	1.25	1.17	1.33	1.50	1.50	1.33	1.17	1.00
	馬	1.10	1.10	1.10	1.10	1.20	1.10	1.10	1.00
	羊	1.31	0.85	1.00	0.77	1.00	0.92	0.85	1.00
	山羊	1.45	1.27	1.55	1.00	0.91	1.18	1.00	1.00
	豚	1.00	0.89	0.56	0.56	1.11	0.94	1.06	1.00
	鶏	0.61	0.64	0.59	0.59	0.59	0.61	0.80	1.00
田畑面積 1ha当たり 頭数	役肉用牛	0.81	0.98	1.23	1.31	1.68	1.17	1.25	1.04
	馬	0.31	0.24	0.11	0.16	0.02	0.18	0.12	0.04
	(合計)	1.12	1.22	1.34	1.47	1.70	1.35	1.37	1.08

資 料 : 表 4 9 に 同 じ。

注 : ( 1 ) 飼養頭数欄の真庭郡と岡山県の括弧内は蒜山地域における飼養頭数の真庭郡及び岡山県における同頭数に対する比率。

( 2 ) 各家畜の1戸当たり飼養頭数の特化係数は岡山県における当該家畜同頭羽数に対する比率。

表 5 6 主要農機具台数

(単位:台)

項 目		蒜 山 地 域						真 郡	岡 県
		川 村	八 村	中 村	旧 川 村	旧 湯 野 町			
数	石油発動機	51	35	14	24	23	147	674	36,100
	電動機	13	14	4	8	16	55	493	12,210
	動力耕機	—	—	—	—	—	—	2	3,396
	動力脱穀機	70	21	6	25	43	165	969	35,451
	動力刈り機	24	24	12	20	24	104	475	9,370
	水力原動機	—	1	1	—	12	3	5	117
農家 100戸 当り 台数	石油発動機	10	7	6	9	5	8	12	27
	動力耕機	—	—	—	—	—	—	0.0	2
	動力脱穀機	11	3	2	7	6	6	10	20
	動力刈り機	4	3	4	6	3	4	5	5

資料：昭和 2 8 年度岡山県市町村勢要覧より作成、  
昭和 2 6 年 8 月現在。

注：農家 1 0 0 戸当たり台数のうち石油発動機  
は電動機を含む。

表 5 7 畜力及び機械力を使用した農家数

(単位：戸、但し岡山県は100戸)

町 村		畜力及び機械力を使用した農家数と割合（％）				畜力・機械力 を使用しない 農家数	農家総数
		畜力のみ	機械力のみ	畜力・機械力併用	総数		
蒜 山 地 域	川上村	269 (43. 7)	24 (3. 9)	84 (46. 2)	577 (93. 8)	38 ( 6. 2)	615
	八束村	490 (68. 6)	3 (0. 4)	144 (20. 1)	637 (89. 1)	78 (10. 9)	715
	中和村	243 (82. 4)	2 (0. 7)	15 (5. 1)	260 (88. 2)	35 (11. 8)	295
	旧二川村	21 ( 5. 9)	5 (1. 4)	307 (86. 7)	333 (94. 0)	21 ( 6. 0)	354
	旧湯原町	104 (14. 5)	2 (0. 3)	553 (77. 2)	659 (92. 0)	57 ( 8. 0)	716
		1, 127 (41. 9)	36 (1. 3)	1, 303 (48. 3)	2, 466 (91. 5)	229 (8. 5)	2, 695
真庭郡		3, 737 (38. 5)	156 (1. 6)	5, 047 (52. 1)	8, 940 (92. 2)	748 (7. 8)	9, 688
岡山県		422 (23. 8)	130 (7. 4)	1, 021 (57. 7)	1, 574 (88. 9)	196 (11. 1)	1, 771

資料：表 4 9 に同じ。

注：各町村の括弧内は農家総数に占める割合。

表 5 8 保有山林がある林家数と保有山林面積

林家数と保有山林面積	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
保有山林がある林家数 (戸)	327	296	258	293	638	1,812	(29.6)	(1.9)
農家林家	326	293	249	254	577	1,699	(29.1)	(1.9)
非農家林家	1	3	9	39	61	133	(41.4)	(3.4)
保有山林面積 (ha)	921	460	688	1,117	2,176	5,362	(30.3)	(3.2)
林家1戸当たり面積 (ha)	2.81	1.55	2.66	3.81	3.41	2.97	2.88	1.78
農家林家普及率 (%)	56.6	43.0	92.9	96.2	89.2	69.7	62.4	52.2

資料：1960年世界農林業センサスより作成。

注：(1) 保有山林面積10a以上の林家を対象。

(2) 農家林家普及率は農家総数に対する農家林家数の比率。

(3) 真庭郡及び岡山県の括弧内は蒜山地域における林家数及び保有山林面積のそれぞれに対する比率。

表 5 9 保有山林面積規模別林家数割合

(単位：%)

保有山林面積規模 (ha)	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
0.1~0.5	29.0	24.4	2.3	1.7	14.9	15.1	22.8	40.3
0.5~1.0	15.3	26.4	6.6	5.1	18.2	15.2	17.1	19.7
1.0~3.0	34.6	34.1	59.7	48.5	34.2	40.3	32.8	25.0
3.0~5.0	11.3	10.1	22.5	21.8	13.2	15.1	12.8	7.3
5.0~10	4.9	3.3	8.1	16.7	11.6	9.4	9.5	4.8
10~20	3.4	0.7	0.8	5.1	5.6	3.6	3.6	2.0
20~30	—	—	—	0.4	1.7	0.7	0.7	0.5
30~50	0.9	—	—	0.7	0.3	0.4	0.4	0.3
50~100	0.3	—	—	—	0.3	0.2	0.2	0.1
100~200	0.3	—	—	—	—	0.05	0.06	0.01
200~500	—	—	—	—	—	—	—	0.00
総林家数(戸)	327	296	258	239	638	1,812	6,121	93,412

資料：表 5 8 に同じ。

表 6 0 樹林地の人工林と天然林別林家数割合

(単位：％、a )

町 村		樹林地		人工林		天然林		人工林と天然林の比率	
		林家率	1戸当たり面積	林家率	1戸当たり面積	林家率	1戸当たり面積	人工林	天然林
蒜 山 地 域	川上村	100.0	279	82.2	100	92.0	214	29.6	70.4
	八束村	100.0	155	57.8	52	97.0	128	19.6	80.4
	中和村	100.0	266	82.2	57	99.2	221	17.8	82.2
	旧二川村	100.0	380	70.6	136	100.0	283	25.3	74.7
	旧湯原町	99.4	339	87.2	156	91.3	222	40.2	59.8
		99.8	294	78.1	115	94.9	215	30.6	69.4
真庭郡		99.8	285	80.5	163	85.2	181	46.0	54.0
岡山県		99.7	175	28.6	115	96.3	148	18.8	81.2

資料：表 5 8 に同じ。

注：（１）林家率は樹林地（人工林あるい天然林）がある林家数の林家総数に対する比率。

（２）人工林と天然林の比率は樹林地面積に占めるそれぞれの面積割合。

表 6 1 林家における林産物の販売と自家消費

(単位:%)

項 目	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中布村	旧二川村	旧湯原町			
林産物								
販売・自家消費した林家率	53.2	62.5	21.3	70.6	52.5	52.8	55.0	58.0
うち販売した林家率	17.4	6.4	20.5	22.5	26.2	20.0	27.9	15.9
年間販売金総額(万円)	752	235	235	315	1,271	2,809	(16.5)	(2.7)
1戸当たり販売金額(万円)	13.2	12.4	4.4	4.8	7.6	7.8	10.0	7.0
用材								
販売・自家消費した林家率	14.4	2.4	8.5	6.8	10.2	8.9	13.4	7.7
うち販売した林家率	9.8	1.4	7.4	5.1	8.5	6.8	12.3	5.2
木炭・薪・木炭と薪の原木・そだ・竹材								
販売・自家消費した林家率	49.5	62.2	26.0	63.8	51.4	51.2	50.7	55.6
木炭								
販売・自家消費した林家率	11.3	28.0	6.2	15.7	16.0	15.7	18.1	5.5
うち販売した林家率	2.4	1.4	0.8	1.4	9.6	4.4	9.4	2.7
薪								
販売・自家消費した林家率	44.7	53.7	19.8	57.0	41.7	43.5	37.8	44.3
うち販売した林家率	0.9	2.0	13.2	16.4	11.9	9.2	5.7	3.8
木炭の原木								
販売・自家消費した林家率	0.6	0.3	—	—	0.9	0.5	2.2	0.9
薪の原木								
販売・自家消費した林家率	5.2	0.7	0.4	1.4	1.3	1.8	1.9	1.1
そだ								
販売・自家消費した林家率	23.5	36.8	8.9	14.0	28.1	23.7	22.4	36.4
竹材								
販売・自家消費した林家率	5.5	1.4	0.4	0.7	3.6	2.6	2.3	3.0
保有山林がある林家数(戸)	327	296	258	293	638	1,812	6,121	93,412

資料：表 5 8 に同じ。

注：(1) 林家率とは、保有山林面積 10 a 以上林家において、1959 年 2 月以降 1 年間に林産物を販売・自家消費した林家数の林家総数に対する比率。

(2) 真庭郡及び岡山県の年間販売金総額の括弧内は蒜山地域における同総額のそれぞれに対する比率。

表 6 2 林産物総販売金額別林家数割合

(単位: %)

販売金額規模	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
5万円以下	28.1	27.2	32.5	40.9	40.7	35.2	37.2	50.5
5~10	27.3	34.6	23.1	22.7	21.3	24.5	22.7	22.9
10~50	34.7	24.7	25.6	28.8	28.5	28.7	28.8	21.5
50~100	8.3	9.9	13.7	6.1	7.2	8.8	8.0	3.5
100~250	0.8	—	5.1	1.5	2.3	2.2	2.6	1.3
250~500	0.8	3.6	—	—	—	0.6	0.6	0.2
500~1,000	—	—	—	—	—	—	—	0.03
1,000万円以上	—	—	—	—	—	—	0.07	0.00
販売した林家数(戸)	121	81	117	66	263	648	(24.4)	(2.8)
販売した林家率(%)	37.0	27.4	45.3	22.5	41.2	35.8	43.3	25.2

資料: 表 5 8 に同じ。

注: (1) 保有山林面積 10a 以上林家における 1959 年 2 月以降 5 年間の統計。

(2) 販売した林家率は保有山林がある林家総数に占める販売した林家数の割合。

(3) 真庭郡及び岡山県の販売した林家数の括弧内は蒜山地域における同林家数のそれぞれに対する比率。

表 6 3 林業賃労働者数とその世帯数

項 目	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
賃労働者総数(人)	43	73	63	85	210	474	(22.1)	(2.3)
うち農家世帯	43	73	61	60	30	267	(14.9)	(1.9)
非農家世帯	－	－	2	25	180	207	(58.9)	(11.7)
賃労働者がいる世帯総数(戸)	41	57	55	73	120	346	(20.4)	(3.2)
うち農家世帯	41	57	53	56	30	237	(16.2)	(2.7)
非農家世帯	－	－	2	17	90	109	(46.8)	(5.5)
農家世帯出身の賃労働者数割合(%)	100.0	100.0	96.8	70.6	14.3	56.3	83.6	82.4
農家世帯総数に占める賃労働者が いる同世帯数割合(%)	7.1	8.4	19.8	21.2	4.6	9.7	15.6	5.1
農家1戸当たり賃労働者数(人)	1.04	1.28	1.15	1.07	1.00	1.12	1.23	1.60
非農家1戸当たり賃労働者数(人)	－	－	1.00	1.47	2.00	1.90	1.50	1.51

資料：1960年世界農林業センサス（林業地域調査）より作成。

注：（１）1959年4月以降1年間に林業賃労働に30日以上従事したものがいる世帯を対象。

（２）真庭郡及び岡山県の賃労働者数及び世帯数の括弧内は蒜山地域における賃労働者数及び世帯数のそれぞれに対する比率。

表 6 4 公有林野の地元利用

項 目	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
所有形態別面積 (ha)								
県有地	－	－	－	－	－	－	－	－
町村有地	590	1,497	851	636	366	3,940	9,587	17,095
財産区有地	－	－	－	－	－	－	－	3,617
利用形態別面積割合 (%)								
薪炭林用	17.9	22.7	42.0	50.0	75.4	35.4	29.8	27.4
採用地用	64.8	77.3	58.0	－	－	51.6	46.5	52.5
放牧地用	16.3	－	－	50.0	24.6	13.0	23.7	20.1

資料：表 6 3 に同じ。

表 6 5 植林地の種類別、植林事業体別面積

(単位:ha)

項 目	蒜 山 地 域						真庭郡	岡山県
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町			
植林地の種類別面積								
総面積	168	23	125	159	166	641	1,663	8,159
うち私営	25	16	103	64	148	356	1,098	5,157
人工林の伐採跡地	9	7	2	5	19	42	203	761
うち私営	1	0	2	5	19	27	167	507
天然林の伐採跡地	158	15	117	153	136	579	1,430	6,958
うち私営	23	15	95	58	118	309	906	4,345
山林以外の土地	0	0	5	1	11	17	24	439
うち私営	0	0	5	1	11	17	22	303
植林の事業主体別面積								
国営	111	－	－	92	18	21	308	1,742
都府県営	－	－	－	－	－	－	20	211
町村営	31	6	22	2	－	61	232	919
財産区営	－	－	－	－	－	－	－	128
私営	25	16	103	64	148	356	1,098	5,157

資料：表 6 3 に同じ。

注：（１）植林は 1959 年 4 月以降 1 年間の実績。

（２）植林地の種類のうち山林以外の土地は、未立木地、牧野でない原野、耕地、宅地など。

（３）面積 0 は 1 ha 未満。

表 6 6 林産物の生産

林産物の種類	蒜 山 地 域						真庭郡
	川上村	八束村	中和村	旧二川村	旧湯原町		
素材生産							
生産量 ( m <sup>3</sup> )	6, 136	763	1, 425	5, 917	6, 039	20, 280	52, 499
人工林材の割合 (%)							
全素材	51	100	84	24	100	72	72
私有林材	66	100	77	34	62	68	78
用途別割合 (%)							
製材用	89	100	84	59	80	82	90
ハ° ルプ° 用	11	—	16	31	20	18	10
薪炭材生産							
生重量 ( 層積 m <sup>3</sup> )	3, 567	1, 679	897	8, 658	1, 398	16, 199	80, 382
製炭者世帯総数	37	25	33	32	186	313	1, 200
自営世帯	37	25	33	32	184	311	1, 194
企業製炭者	—	—	—	—	2	2	6
販売用製炭量 ( 千表 )	7	4	7	4	69	91	383
うち自営世帯	7	4	7	4	55	77	350
薪生産							
普通薪 ( 層積 m <sup>3</sup> )	1, 642	639	216	350	202	3, 049	9, 089

資料：１９６０年世界農林業センサス、ただし薪生産は１９６０年農林業センサス（林業地域調査）より作成。

注：（１）１９５９年４月以降１年間の実績。

（２）２以上の町村で製炭したものであれば、それぞれの町村に計上。

（３）数値は過小であると推定されるが、町村の生産量の規模を知る目安となる。